

令和4年度  
事業報告書

自：令和4年4月 1日  
至：令和5年3月31日

福島県会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂62番地2

社会福祉法人 博愛会

## 【事業報告書】

### 〔目次〕

社会福祉法人博愛会法人事務局	1
特別養護老人ホーム会津みどりホーム	7
会津みどりホームデイサービスセンター	25
会津若松市若松第4地域包括支援センター	29
短期入所生活介護事業所会津みどりホーム	34
居宅介護支援事業所会津みどりホーム	39
あいづ南花畑デイサービスセンター	42
幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園	46
放課後児童健全育成事業（行仁こどもクラブ）	52
保育園すくすく園	54
放課後児童健全育成事業（東山こどもクラブ）	59
放課後児童健全育成事業（鶴城こどもクラブ）	61

# 令和4年度社会福祉法人博愛会事業報告書

当法人の経営理念・方針に基づき、高齢者介護・児童福祉を実施するにあたり、地域に信頼される質の高いサービスの提供を目指して事業を行ってきた。事業の実施状況は次のとおり。

## 1. 事業の内容

(名 称)

幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園の経営  
保育所すくすく園の経営  
特別養護老人ホーム会津みどりホームの経営  
会津みどりホームデイサービスセンターの経営  
あいづ南花畑デイサービスセンターの経営  
会津みどりホーム居宅介護支援事業所の経営  
会津若松市若松第4地域包括支援センターの経営  
短期入所生活介護事業所会津みどりホームの経営  
放課後児童健全育成事業東山こどもクラブの運営（保育所すくすく園）  
放課後児童健全育成事業行仁こどもクラブの運営  
（幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園）  
放課後児童健全育成事業鶴城こどもクラブの運営（保育所すくすく園）

## 2. 法人役職員

代表理事	大島 一浩	（前特別養護老人ホーム会津みどりホーム施設長）
業務執行理事	渡辺 直人	（元会津風雅堂館長）
〃	谷川香代子	（保育所すくすく園園長）
〃	白石由紀子	（幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園）
〃	鈴木かおる	（特別養護老人ホーム会津みどりホーム施設長）
〃	小山 香織	（短期入所生活介護事業所会津みどりホーム管理者）
理 事	川島安紀子	（特定非営利法人理事長）
〃	松川 和夫	（元会津若松市代表監査委員）
〃	森田美智子	（前保育園園長）
監 事	荒海 健	（元西会津町振興公社統括部長）
〃	江川 辰也	（元会津若松市代表監査委員）
〃	古川 純夫	（高野地区民生児童委員）
評 議 員	伊藤 禮子	（元会津長寿園事務局長）
〃	大須賀美智子	（元県人事委員会委員長）
〃	菊池 芳次	（神指地区区長会長）
〃	酒井 完	（神指地区民生児童委員）
〃	佐藤 憲	（会津若松地区保護司会副会長）
〃	田澤 和子	（日新地区民生児童委員）
〃	蓮沼 恭子	（元会津若松市保育所長）

評 議 員 平出 孝朗 (元県議会議長)  
 " 増戸 尚 (社会福祉法人博愛会嘱託医師)  
 " 武藤 光榮 (城北地区民生児童委員協議会会長)  
 " 山田眞一郎 (医療法人山田整形外科院長)

苦情解決委員会 江川 辰也 (社会福祉法人博愛会監事)  
 (第三者委員) 蓮沼 恭子 (社会福祉法人博愛会評議員)

入所検討委員会 渡部 淳 (会津若松市自立支援協議会会長)  
 (第三者委員) 小沼 昭子 (元民生児童委員)

### 3. 施設の長・管理者

統括施設長 大島 一浩 (老人福祉施設)  
 施 設 長 鈴木かおる (特別養護老人ホーム会津みどりホーム)  
 管 理 者 小山 香織 (短期入所生活介護事業所会津みどりホーム)  
 管 理 者 一条真左美 (会津みどりホームデイサービスセンター)  
 管 理 者 梅宮和嘉子 (あいづ南花畑デイサービスセンター)  
 管 理 者 橋本 ゆか (居宅介護支援事業所会津みどりホーム)  
 管 理 者 島田 暁美 (会津若松市若松第4地域包括支援センター)  
 園 長 白石由紀子 (幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園)  
 園 長 谷川香代子 (保育所すくすく園)

### 4. 土地、建物(基本財産)の状況

(所在地)	(地目、用途及び面積)
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 55 番地 1	宅地 12,029.93 m <sup>2</sup>
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 62 番地 2	宅地 5,197.84 m <sup>2</sup>
会津若松市本町 556 番 2 他 4 筆	宅地 2,033.17 m <sup>2</sup>
会津若松市南花畑 142 番 3	宅地 897.93 m <sup>2</sup>
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 55 番地 1	
会津みどりホーム園舎及び機械室園舎 (3 棟)	3,812.01 m <sup>2</sup>
会津若松市神指町大字北四合字伊丹堂 62 番地 2、55 番地 1	
短期入所生活介護事業所会津みどりホーム園舎及び機械室 (2 棟)	2,139.84 m <sup>2</sup>
会津若松市本町 556 番地 2、556 番地 3 及び 560 番地	
あいづ博愛こども園園舎 (2 棟)	613.73 m <sup>2</sup>
会津若松市東千石二丁目 197 番地	すくすく園園舎 (1 棟) 586.34 m <sup>2</sup>
会津若松市南花畑 142 番地 1、141 番地 1 及び 142 番地 3	
あいづ南花畑デイサービスセンター園舎 (1 棟)	666.18 m <sup>2</sup>

## 5. 法人事業計画実施状況

令和4年度は、あいづ南花畑デイサービスセンターが市の公設民営から、事業譲渡により博愛会による民設民営に移り初年度を迎えた。これまで以上に地域に根差し、利用者家族に選ばれる事業運営をおこなってきた。また保育所博愛園も保護者の就労によらず利用できる幼保連携型認定こども園として生まれ変わり、これまでの保育の実績に加え、教育を兼ね備えた内容で保護者ニーズの変化に対応できる事業運営をおこなってきた。

高齢者施設では新型コロナウイルス感染症に対する感染予防対策を図ってきたが、短期入所生活介護事業所では一時、施設内での感染拡大により利用者受入れを停止した。その他の事業所でも利用を控えるケースもあり経営的な影響があった。また、災害発生時に備えた事業継続計画（BCP）を策定して共有を図り、虐待の防止に関する事項についても運営規程に定め、責任者や担当者を選任するなど対策を図った。

児童福祉事業においても断続的な新型コロナウイルス感染症の報告により、クラス閉鎖を余儀なくされ、職員不足などもあり日々の運営調整に苦慮した。

放課後健全育成事業では、令和4年度より鶴城こどもクラブの受託運営を開始した。こどもクラブでは近年、支援を要する児童の割合が増えており、学校や行政、保護者との情報共有など連携が重要であり、引続き支援員などの心身の負担増加に対する留意が必要である。

その他、重点事項については、下記のとおり。

### 〔1〕法人の中長期計画の検討

高齢者事業では、事業運営の課題を抽出し「現在、生じている課題」「近い将来、生じるかもしれない課題」に分類して、課題解決に向けた検討を実施した。課題については、各事業所の資金計画や実施計画を事業計画に盛り込み計画的に取り組むこととしている。

### 〔2〕幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園の運営管理

認定こども園として1号認定を2名の受入れ、これまでと異なる書類整備に戸惑いはあったものの、保護者の理解もありスムーズな移行と安定的な運営が図れた。

### 〔3〕放課後児童健全育成事業の運営管理

令和4年度より受託運営した鶴城こどもクラブでは、支援を要する児童が多く在籍し鶴城小学校や行政との連携や保護者・児童との信頼関係構築に努め、早期の安定運営に注力した。

### 〔4〕あいづ南花畑デイサービスセンターの運営管理

民設民営として再スタートし、引続き地域における通所介護サービスを維持発展させるため、情報の発信と利用者が安全安心して利用できる環境の提供に注力した。また、取得した土地や建物の移転登記も完了した。

### 〔5〕近隣法人連携による相互協力及び地域支援の実施

新型コロナの影響による各法人の事情を考慮し、近隣法人連携による活動はできなかった。

### 〔6〕法人監事による事業所上期監査

法人本部、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業所、あいづ南花畑デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、あいづ博愛こども園において、年度中期での事業等の進行管理及び法令遵守並びに組織内部体制が適切に行われているか検証を行った。特に現金の出納管理の手続きや契約手続きなど重点的に確認を受け、適切に処理管理されていることが認められた。

### 〔7〕福島県・会津若松市指導監査の実施

法人本部については会津若松市地域福祉課の指導監査を受審した。評議員会の出席のための交

通費は実費相当額を超えて支給する場合は報酬等に含まれることから、報酬等の支給基準を改正し、評議員会の承認を受け、公表すべきとの指導があり、定款及び役員等報酬規程を改正する予定である。

あいづ南花畑デイサービスは、福島県福祉監査課書面指導を受審するも、改善報告を要する事項は無かった。

あいづ博愛こども園については、令和5年1月に福島県保健福祉課の書面監査を受審する。安全管理並びに健康管理に関する指摘あり改善内容を報告した。

また、すくすく園についても令和5年2月に福島県保健福祉課の書面監査を受審する。健康管理に関する指摘あり改善内容を報告した。

## 6. 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催状況

理事会では定款の定めに従い、予算、決算、規則規程の改正、事業計画及び事業報告等の決議や報告をおこなった。また重要な事項に関しては、議決機関である評議員会の承認を得た。

区 分	理事会		評議員会	選任委員会	主な審議事項及び報告事項
	理事	監事			
5月31日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告、計算書類・財産目録の承認</li> <li>・定款の変更</li> <li>・規則・規程の改正</li> <li>・令和4年度補正予算</li> <li>・業務執行理事の選任</li> <li>・定時評議員会招集の件</li> </ul>
6月17日	8	3	9	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告</li> <li>・令和3年度計算書類・財産目録の承認</li> <li>・定款の変更</li> </ul>
9月21日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則・規程の改正</li> <li>・令和4年度補正予算</li> <li>・評議員選任解任委員の選任</li> <li>・職務執行状況報告</li> </ul>
12月1日	9	2	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則・規程の改正</li> <li>・令和4年度補正予算</li> <li>・職務執行状況報告</li> </ul>
3月20日	9	3	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度補正予算</li> <li>・令和5年度事業計画、事業予算</li> <li>・定款の変更、規則・規程の改正</li> <li>・契約の締結</li> <li>・施設長等の選任</li> </ul>

## 7. 情報公開、開示

インターネット上にホームページを利用し当法人の事業状況及び財務諸表について情報の公開をした（財務諸表については、平成24年度分から開示している）。

## 8. 苦情解決にかかる苦情の内容と解決結果数

苦情への円滑な対応を図るために、第三者委員、苦情解決責任者及び苦情受付担当者で構成する苦情解決委員会を年2回開催し、苦情の内容や解決結果について検討し改善を図った。処理件数や内訳、概要は次のとおり。

区分	処理件数	苦情の内容		
		職員の処遇 (対応・言葉遣い)	説明・情報提供	その他
総数	16	8	7	1
特別養護老人ホーム会津みどりホーム	2	2		
短期入所生活介護事業所会津みどりホーム	1		1	
会津みどりホームデイサービスセンター	2	1		1
会津若松市若松第4地域包括支援センター	1		1	
幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園	1		1	
保育所すくすく園	2	2		
放課後児童健全育成事業東山こどもクラブ	1	1		
放課後児童健全育成事業鶴城こどもクラブ	6	2	4	

### 〔概要〕

施設名	概要
特別養護老人ホーム 会津みどりホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診の付き添い職員の態度が、早く帰りたい感じで不快だった。</li> <li>・職員からコロナ感染症のことを憶測で話され、差別された気がした。</li> </ul>
短期入所生活介護事業所 会津みどりホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持参した持ち物が破損していたのに報告や説明がなかった。</li> </ul>
会津みどりホーム デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が書類を受け取る際、取り上げるような態度で不愉快だった。</li> <li>・前にも話したが、眩しいので停車中は送迎車両のライトを消して欲しい。</li> </ul>
会津若松市若松第4 地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同居の嫁が家を留守にすることで、担当の職員が別居の娘に連絡していることに不信感しかない。</li> </ul>
幼保連携型認定こども園 あいづ博愛こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケガをした時に、受診などの対応をして欲しかった。</li> </ul>
保育所すくすく園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども同士けんかをしているときは、ケガをしないように声掛けや注意をして欲しい。</li> <li>・保育園なのに、早く迎えに来て欲しいと言われた。</li> </ul>
放課後児童健全育成事業 東山こどもクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送り出しの遅れた理由が、こどもに原因があるような説明であった。</li> </ul>
放課後児童健全育成事業 鶴城こどもクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもに対する言葉掛けにもう少し配慮して欲しい。</li> </ul>

## 9. 永年勤続表彰式

永年に渡り誠実に勤務した職員の功労を称え表彰した（令和4年11月25日開催）。

表彰内容	所 属	氏 名
30年勤続表彰（2名）	保育所すくすく園	板橋 理香子
		金田 寿子
20年勤続表彰（2名）	あいづ南花畑デイサービスセンター	佐藤 綾子
	短期入所生活介護事業所会津みどりホーム	佐藤 直美
10年勤続表彰（3名）	会津みどりホームデイサービスセンター	高畑 由季
	保育所すくすく園	瓜生 瑠奈
	幼保連携型認定こども園あいづ博愛こども園	長谷川 由貴

## 10. 役職員の研修実施状況

計画に基づく各種研修会については、新型コロナウイルス感染症予防のもと規模や実施内容を工夫し、下記のとおり主催開催した。また外部研修についても、派遣やオンライン研修で必要な情報を得るよう努めた。

〔主催研修〕

研修月日	研 修 名	出席者数	研 修 場 所
4月1日	新採用職員基礎研修 「新採用職員の心得・服務規律について」 「各事業所の役割について」他 代表理事・事業所長等	職員 16名	短期入所生活介護 事業所会議室
11月1日	法人研修 「ニューノーマル時代に求められる働き方」 ～エンゲージメントとアンコンシャスバイアス～ ミライズ株式会社 専務取締役 ミライズコンサルティング 代表コンサルタント 高橋理里子 氏	職員 34名	特別養護老人ホーム 多目的ホール

〔外部研修〕

研修月日	研 修 名	出席者	研 修 場 所
7月14日	福島県経営協セミナー（前期）	大島代表理事	オンライン受講
9月12日	社会福祉法人監事研修	荒海健監事	ビッグパレットふくしま
1月23日	社会福祉法人役員等対象講演会	大島代表理事 小沼事務局長	オンライン受講
1月27日	苦情解決責任者・第三者委員研修	板橋主任保育士	福島県農業総合センター
2月13日	福島県経営協セミナー（後期）	大島代表理事	オンライン受講
2月27日	人事労務管理研修	大島代表理事	オンライン受講



# 令和4年度 老人福祉施設部門事業報告

## [1] 特別養護老人ホーム会津みどりホーム(空床型短期入所含)

### 1 事業の運営総括

- 新型コロナウイルス感染拡大により制限ある生活が長期化する中、感染対策を図りながら季節の行事を開催し、毎月季節に合わせた行事食やカフェみどり等食を楽しんでいただき、できるだけストレスのない生活の場の提供に努めた。また、ご家族には引き続き、窓越し面会やオンライン面会の協力をいただき、また、ご利用者の日々の生活の状況について定期的に報告を行い、ご家族の方々にもストレスや不安を解消できるよう努めた。
- リモート研修会の参加や内部研修による感染症の理解を深め、BCP(業務継続計画)、感染症マニュアルや業務の見直しを適宜行い感染対策の強化を行ってきた。  
11、12月の間に単発的であったが職員・委託業者計7名が新型コロナウイルス感染症に罹患するも、日々の感染対策の徹底、早期対応を行うことで、利用者には感染させることなく、蔓延を防ぐことができた。
- 重点事業として掲げた、自立支援、重度化防止の取組みでは、口腔ケアについては、口腔プロジェクトフローチャートを活用し、食事摂取量が落ちてきた利用者に対し早期介入を行い多職種で検討対応を行ってきた。スキンケアについては、日々変化する個々の利用者にあつたポジショニング対応が上手くできないこともあり、褥瘡の件数が増えたが、早期に対応し、発生原因の分析と医療機関との連携を密に行うことで、悪化を防ぐことができた。また、失禁関連に伴う皮膚トラブルでは、個々の利用者の排泄データを基にした対応を行うことでは大幅に減らすことができた。
- 施設設備としては平成6年より使用している高圧受変電設備の更新を行い、安全な電気エネルギーの供給を図った。その他、居室トイレ・洗濯機器等の修繕を適宜行った。
- 地元小学校への出前講座や小学生、保育園児との交流については、新型コロナウイルス感染予防の為、実施できなかったが、地域において介護予防教室等へ講師派遣として出向いた。
- 利用率96.92%(空所型短期入所者・措置入所者含) ※目標利用率97.0%

### 2 介護老人福祉施設・特養保険者(出身地別)利用者状況(各月1日現在の在籍者)

市町村	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
会津若松市	90	92	90	90	90	91	90	91	93	92	91	90	1,090
会津坂下町	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	32
会津美里町	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
磐梯町	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
南会津町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
南相馬市	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
浪江町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計(人)	99	100	99	99	99	100	99	99	100	99	98	97	1,188

### 3 介護老人福祉施設・特養利用者年齢別状況(令和5年3月31日現在)

年齢区分(歳)	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
男性	1	0	2	3	9	4	3	0	0	22	93	50	81.5
女性	2	1	4	5	10	25	19	9	1	76	100	61	86.5
合計(人)	3	1	6	8	19	29	22	9	1	98			85.4

### 4 介護老人福祉施設・特養入所利用期間(令和5年3月31日現在)

期間	1年未満	1~3年	4~6年	7~9年	10年~	合計(人)	平均期間(年・月)
男性	6	6	6	2	2	22	4年10カ月
女性	17	26	22	5	6	76	4年8カ月
合計(人)	24	32	28	7	8	98	4年9カ月

5 介護老人福祉施設・特養入退所状況(令和5年3月31日現在)

月	入所者状況(人)				退所者状況(人)			
	男性	女性	入所前状況(人)	計	男性	女性	退所理由(人)	計
令和4年4月	2	3	在宅3 有料老1 病院1	5	0	2	死去2	2
5月	1	1	老健2	2	1	2	契約解除3	3
6月	0	1	在宅1	1	1	1	死去1 契約解除1	2
7月	1	2	老健2 病院1	3	0	2	契約解除1 死去1	2
8月	0	3	在宅2 老健1	3	0	0		0
9月	0	0		0	0	3	契約解除2 死去1	3
10月	1	2	老健2 病院1	3	1	2	死去1 契約解除2	3
11月	1	1	有料老2	2	0	2	死去1 契約解除1	2
12月	1	1	病院2	2	0	2	死去1 契約解除1	2
令和5年1月	1	3	有料老1 養護老1 在宅1 病院1	4	2	1	死去3	3
2月	0	1	有料老1	1	2	0	死去1 契約解除1	2
3月	1	2	在宅1 養護老1 有料老1	3	1	4	死去4 契約解除1	5
合計	9	20		29	8	21		29

入所 在宅(8名)老健(7名)有料老(6名)養護老(2名)病院(6名)

退所 契約解除(13名) 死去(16名)

6 介護老人福祉施設入所待機者数(令和5年3月31日現在)

令和4年4月1日～令和5年3月31日現在までの申込者数 204名 (男性69名、女性135名)

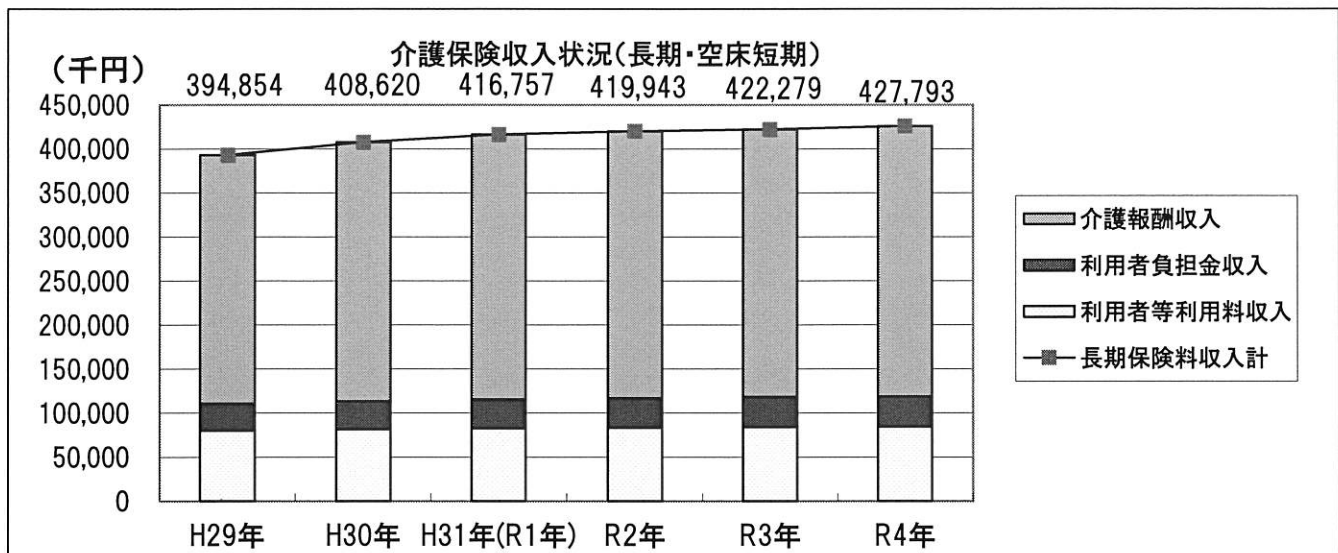
総待機者数541名(男性161名・女性378名)(前年比 +63名)

7 介護老人福祉施設・特養(空床型短期含)利用実績

月	当月利用者 延人数(人)	要介護区分										延日数 (日)	利用率	
		要介護1以下		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5				
		利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数	利用者数	利用日数			
合計	特養	1,209	5	153	49	1,489	193	5,612	576	16,598	386	11,115	34,967	96.92%
	措置	10	3	60	2	54	0	0	5	126	0	0	240	
	短期	19	6	56	9	76	0	0	2	10	2	27	169	
総合計	1,238	14	269	60	1,619	193	5,612	583	16,734	388	11,142	35,376		
平均介護度											令和4年度	3.98		
											令和3年度	3.99		

8 事業運営の実績報告

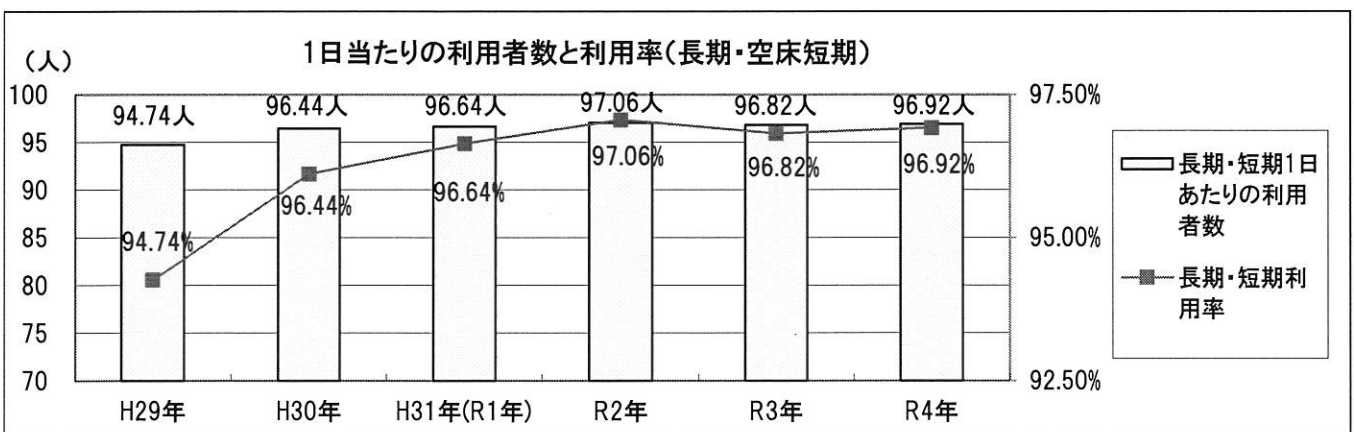
① 介護老人福祉・特養施設事業状況



介護報酬の推移(長期・空床短期)

(円)

	H29年	H30年	H31年(R1年)	R2年	R3年	R4年
介護報酬収入	282,506,757	294,220,505	300,968,071	303,131,602	303,880,574	307,181,686
利用者負担金収入	30,398,220	31,671,721	32,762,892	33,448,753	34,134,741	34,260,658
利用者等利用料収入	80,259,212	81,644,654	82,660,317	83,363,287	84,263,979	84,536,698
長期保険料収入計	393,164,189	407,536,880	416,391,280	419,943,642	422,279,294	425,979,042
介護報酬収入	1,199,025	711,486	265,734	0	0	1,276,965
利用者負担金収入	134,591	130,303	29,525	0	0	146,950
利用者等利用料収入	357,020	241,500	71,160	0	0	390,416
空床短期保険料収入計	1,690,636	1,083,289	366,419	0	0	1,814,331
長期・短期保険料収入計	394,854,825	408,620,169	416,757,699	419,943,642	422,279,294	427,793,373



利用者数と利用率の推移(長期・空床短期)

(定員100人)

	H29年	H30年	H31年(R1年)	R2年	R3年	R4年
長期利用延べ日数	34,405	35,081	35,338	35,428	35,342	35,207
長期1日あたりの利用者数	94.26	96.11	96.55	97.06	96.82	96.45
長期利用率	94.26%	96.11%	96.55%	97.06%	96.82%	96.45%
空床短期利用延べ日数	176	118	35	0	0	169
長期・短期利用延べ日数合計	34,581	35,199	35,373	35,428	35,342	35,376
長期・短期1日あたりの利用者数	94.74	96.44	96.64	97.06	96.82	96.92
長期・短期利用率	94.74%	96.44%	96.64%	97.06%	96.82%	96.92%

※措置入所の収入及び延べ日数については、長期利用分に含む

9 事業経営成果

(1)総務・施設

重点目標	実施状況
<b>【安定した施設収入確保】</b>	
①安定した施設経営のために、介護報酬改定に伴う加算の要件・LIFEについて内部勉強会で情報共有を図り、加算取得に向けた取り組みを行なう。(継続目標)	① LIFE(注釈1)に関する内部勉強会を開催した。今後も加算取得に関する情報共有を図っていきたい。
<b>【設備更新】</b>	
①平成6年より使用している高圧受変電設備の更新を行い、安全な電気エネルギーの供給を図る。	① 令和5年3月に高圧受変電設備更新工事を行った。
<b>【感染拡大防止対策】</b>	
①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、感染症対策物品の安定供給と適正な在庫管理を図る。(継続目標)	① 感染症対策物品の在庫管理を定期的に行った。また、価格調査も適時行ない、価格上昇前に在庫確保できるように努め、感染症対策の安定した在庫を確保することができた。

注釈1 科学介護情報システム(データの提出とデータ解析によるフィードバックの活用によって、科学的に裏付けられた介護の実現を目指し、ケアの質の向上を図る事が目的)

(2)生活相談

重点目標	実施状況
<b>【安定した利用率】</b>	
①安定した稼働率を達成する為、空床期間の短縮を図れるよう入所待機者の早めの実調を行い、常に実調が済んだ利用者様がいるようにする。また、入所に関する書類も早めに送付する。 ②欠員が生じてから新規入所者を迎えるまでの期間について、2週間以内を目標とする。	①② 退所後の空床期間2週間以内を目標に取り組んできた。措置入所や空床ショートの利用を含めると概ね目標達成する事ができた。今後も早めの実態調査を行い、いつでも入所していただけるような準備をご家族や関係機関も含めて行っていく。
<b>【利用者・ご家族・地域から信頼を得るサービス】</b>	
①インテークを担当する係として、日頃から話しかけやすい雰囲気作りと丁寧な説明を行う。新型コロナウイルスの感染対策の為、電話にての相談受付も多くなっており、顔が見えない中での対応であることを意識し、声のトーン等に気を付けて対応する。(施設入所者だけでなく、関係機関や行政とのやり取り、入所申込の相談等) また、インターフォンへの素早い来客対応を行っていく。 ②感染症に関する事務連絡について、一斉メールを活用した情報提供を行えるようにする。その為、一斉メールについてのアンケートを実施し、希望された身元引受人から実施する。	① 令和2年4月から新規入所される方には、職員の顔写真入りの紹介用紙をお渡しし、担当者がわかりやすいようにした。また、話しかけやすい雰囲気作りや相手の方に不快感を与えないように説明や挨拶を行ってきた。 ② 一斉メールの活用について、令和4年度は、受け手となる家族の受信環境や導入コストの問題もあり実施出来なかった。引き続き、令和5年度も検討していきたい。
<b>【地域ニーズに対する貢献活動】</b>	
①地域貢献活動を行う。(地元小学校や保育園との交流会・福祉出前講座の開催) 交流会は、感染状況をみながら、動画上映が出来るよう、保育園と相談する。 ②若松第4包括支援センターからの依頼があれば、キャラバンメイトとして認知症サポーター養成講座の講師も行う。	① 新型コロナウイルス感染予防の為、保育園との世代間交流会は行う事ができなかった。また、認知症出前講座についても11月を予定していたが施設内でも新型コロナウイルス関連での休みが多く発生し体制が整わず実施することが出来なかった。 ② 市初任者研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、教育委員会と協議し受け入れを中止した。

①ボランティア受入れ状況 ※新型コロナウイルス感染症予防対策の為、ボランティアの受け入れを縮小・代替する。

月	ボランティア機関(内容)	月	ボランティア機関(内容)
4月	なし	10月	なし
5月	なし	11月	北会津ホテルの里そば倶楽部(新そば会) 12日
6月	なし	12月	なし
7月	なし	1月	なし
8月	なし	2月	なし
9月	なし	3月	なし

(3)栄養・調理

重点目標	実施状況
【個々の状態・ニーズに添った食事提供と栄養状態の維持】	
①利用者の食事状況・ニーズを多職種で共有し、全ての利用者が満足できる食事提供に努める。 ②バリエーション豊かな献立や、季節感を取り入れた食事作りに努める。 ③食に関わるイベントとして、カフェみどりや茶話会(睦会)を実施する。	① 食事が減ってきた利用者に対しては、多職種と協力しながら食事状況に応じた食事提供ができた。感染対策のため居室で食事をするようになり、お話しを聞く機会が減ってしまったが、介護職員を通して可能な限り細かなニーズに対応できた。 ② 施設全体の行事食(クリスマス会、お花見弁当)や暦の行事に合わせて、食事作りを行った。 ③ 感染対策のためCaféみどりは7月・8月・9月・3月の4回の実施となったが、季節に合わせたお菓子を提供することで利用者の皆さまに好評だった。睦会(食事に関する対話会)も感染対策のためほとんど実施できなかった。6月にキッチンみどりと称して、利用者の方と一緒に料理を作るイベントを実施した。
【安心・安全・安定の食事提供】	
①小さな事例もヒヤリハット報告することで、リスク管理意識を高め、配膳ミス・異物混入ゼロに努める。 ②毎月清掃チェック表の担当者が責任をもって清掃することで、厨房内の衛生管理に努める。 ③緊急時にも安定した食事が提供できるよう、緊急時マニュアルのシミュレーション(訓練)を実施する。	① ヒヤリハット1件(魚の骨が混入)事故報告1件(炊飯器のスイッチ入れ忘れ)、いずれも係内で情報を共有し、再発はみられていない。 ② 清掃については人員が足りない時があり、担当者以外がフォローで清掃するなど協力して行っていたが、回数的には少なかった。また、感染対策の備蓄品や物品が整理整頓できていなかった。 ③ 防災委員会を中心に災害時・緊急時の備蓄品の確認や非常電源の切り替えの仕方などの確認を行った。シミュレーションについては実施できなかったため、次年度は実施できるようにしたい。
【業務の効率化】	
①毎月1回栄養会議を行い、現在の経営状況や業務効率化について話し合う。 ②外部研修や勉強会に積極的に参加します。また、食事や衛生管理についての内部研修を開催する。	① 毎月の栄養会議は実施せず、日々の申し送り(口頭やメモなど)を徹底して行う事で、現状の業務内容の改善など検討することが出来た。 ② 施設内の勉強会に積極的に参加できた。また、12月に食中毒についての内部研修を開催した。
【地域に向けての情報発信】	
①包括支援センター主催の地域活動への参加・広報誌(みどりのたより)に栄養指導や献立の記事を掲載する等で情報を発信する。 ②感染状況を見ながら実習生(栄養士資格取得)の受け入れを行う。	① 地域包括支援センターから講師の依頼があり、11月21日に「免疫力を高める食事」について講義を行った。みどりのたより124号に栄養士からのおすすめメニューとして桜ミルクプリン」の作り方を掲載した。 ② 感染状況が落ち着かなかつたため、栄養士の実習生の受け入れはせず。

①栄養管理状況(食事の状況)				(令和4年3月31日現在)		(令和5年3月31日現在)	
				食事数	割合(%)	食事数	割合(%)
主食	ごはん・軟飯	副食	常食	14	14.0%	13	13.0%
			一口大刻み食	11	11.0%	13	13.0%
			刻み食	9	9.0%	14	14.0%
			極刻み食	0	0.0%	2	2.0%
			ソフト食	4	4.0%	3	4.0%
主食	お粥	副食	常食	1	1.0%	1	1.0%
			一口大刻み食	0	0.0%	1	1.0%
			刻み食	12	12.0%	14	12.0%
			極刻み食	6	6.0%	3	3.0%
			ソフト食	25	25.0%	23	24.0%
			ミキサー食	5	5.0%	4	4.0%
流動食(経管栄養)			流動食	12	12.0%	9	9.0%
合計				99	99.0%	100	100.0%
特別食			(腎臓病食)	0	0.0%	1	1.0%
			(脂質異常症食)	0	0.0%	0	0.0%
			(糖尿食)	8	8.0%	8	8.0%
			(減塩食)	6	6.0%	9	9.0%

②食事行事の状況

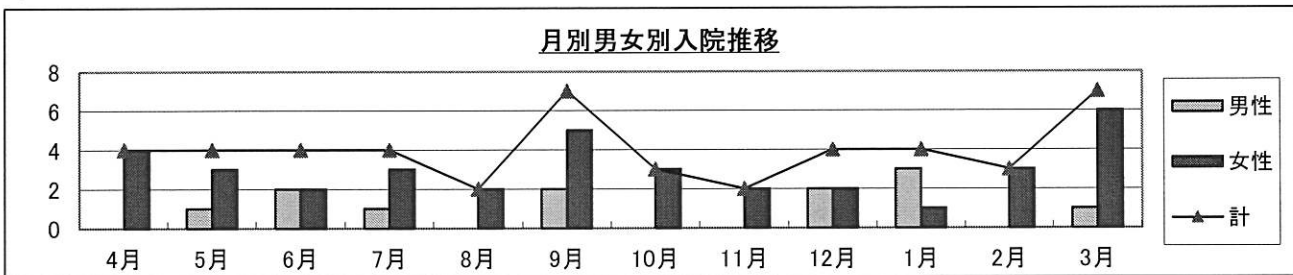
行事名	食事内容
お花見昼食会	にぎり寿司、花麩と三つ葉の吸物、タケノコの煮物、五目玉子焼き、桜ロールケーキ
クリスマス会	オムライス、コンソメスープ、エビフライ、かぼちゃグラタンサーモンとアボカドのマリネ、チョコレートケーキ
誕生日会	【松花堂弁当】利用者の誕生日の昼食に聞き取りした希望の献立を提供・チョコメッセージ付のいちごのショートケーキ・プリン・生菓子
希望食(毎月1回)	にぎり寿司・かんぴょう巻・チャーハン・焼きそば・オムライス・ソースカツ丼・おはぎ・散らし寿司・ステーキ・豚肉の生姜焼・焼き肉・冷やし中華・刺身盛合せ・しょうゆラーメン・海鮮丼・エビフライ・中華丼・ねぎとろ・牛丼・鶏の唐揚げ・焼き魚・煮魚・うなぎ蒲焼・天津飯・おでん・ピザ・グラタン・揚げなす
Caféみどり	7月:ひまわりゼリー、8月:屋台みどり(お好み焼き、フライドポテト、チョコプリン)、9月:かぼちゃもちあんこかけ 3月:おやつバイキング(ムース風ケーキ、2食団子、みたらし餅風)

#### (4)看護

重点目標	実施状況
<b>【安定した稼働率に向けて】</b>	
①利用者の状態観察と健康管理を行う。 ②個人の基礎疾患を踏まえ、協力病院や嘱託医の指示のもと、多職種と情報を共有し看護を実施する。	①毎日の検温と状態観察を行い、異常の早期発見に努めた。適宜に協力病院と連携を図りながら、利用者の重症化防止に努めた。 ②利用者の持つ疾患を共通理解し多職種と連携を図り症状がある時には協力病院と連携を図りながら重症化防止に努めた。
<b>【利用者・ご家族・地域から信頼されるサービスに向けて】</b>	
①感染予防策の徹底として、最新の情報を収集し、日々の感染予防を実施する。 ②内部研修を開催し、実践研修を取り入れながら職員全員が感染予防出来るよう周知・徹底する。	①②都度、マニュアルの確認や感染対策チェックシートを実施、また看護会議の時にプラスチックガウン等の個人防護具の着脱や発生時の対応について定期的なシミュレーションを行い感染予防に努めた。
<b>【口腔機能維持に努める】</b>	
①個人の状態のアセスメントを行い、個別ケアを行う。 ②経口摂取が維持できるように、多職種と連携を図る。 ③歯科医師の指導や助言を基に、多職種と共同で口腔機能の維持を図る。	①口腔チェックを行い、口腔内の状態の把握に努めた。 ②口腔プロジェクトのフローチャートを基に、対象者には対策をして対応を行った。 ③月1回の歯科の勉強会と往診時に歯科医師の指示の下適切なケアに努めた。
<b>【褥瘡予防に努める】</b>	
①皮膚状態の観察を行い、異常の早期発見に努める。 ②多職種共同で必要なケアを実施する。	①②褥瘡件数は増えたが、早期対応し、発生の原因の分析、医療機関との連携や除圧等で悪化を防ぐことが出来た。
<b>【人材育成】</b>	
①喀痰吸引の実施研修を実施する。 ②医療に係る内部研修を開催する。	①2名の介護職員の実地研修を終了した。 ②救命救急(5月)医行為・看取り(10月)に関する内部研修を看護担当で実施した。
<b>【チーム力を高める】</b>	
①職員間でのコミュニケーションを大切にする。 ②1人1人のニーズに寄り添い、その方にとって最良の看護を提供する。 ③自己理解と他者理解があるという事を踏まえ、お互いに相手を理解し合う。	①忙しい時はコミュニケーション不足になる事もあったが、看護会議等で話し合う時間をもち、情報共有が出来るよう心がけた。 ②状態観察を行い、検温や処置等の際には利用者とのコミュニケーションを図った。 ③お互いに理解しあえるように、相手の話を聞くようにし、声掛けするよう心掛けた。

#### 利用者状況

##### ①月別入院者の状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性(人)	0	1	2	1	0	2	0	0	2	3	0	1	12
女性(人)	4	3	2	3	2	5	3	2	2	1	3	6	36
計(人)	4	4	4	4	2	7	3	2	4	4	3	7	48

##### ②入院期間の状況

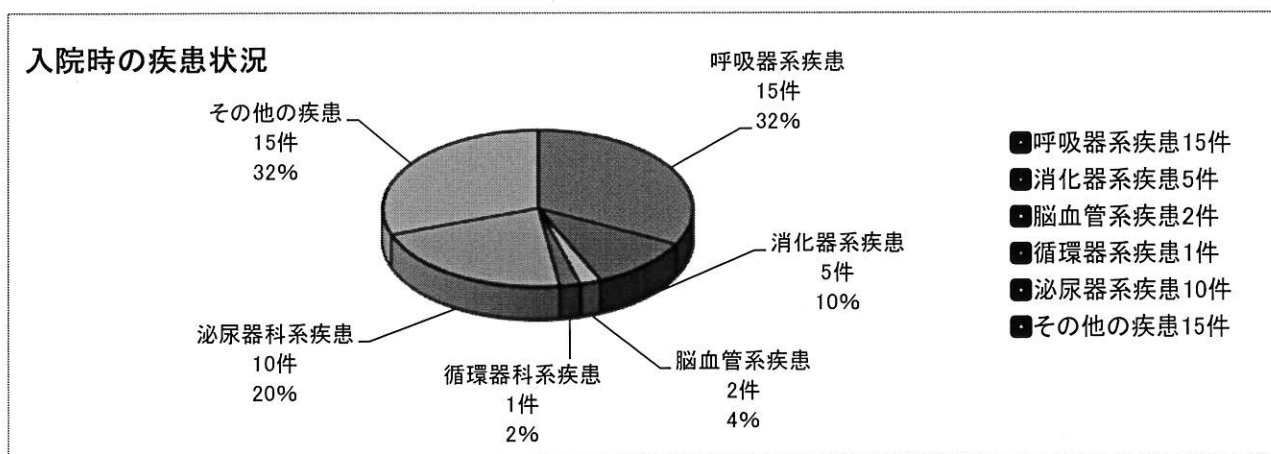
入院期間	男性		女性		合計	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
1日～7日	3名	12日	6名	33日	9名	45日
8日～14日	3名	31日	11名	113日	14名	144日
15日～30日	4名	82日	12名	246日	16名	328日
31日～60日	3名	114日	6名	306日	9名	420日
61日～90日以上	1名	73日	1名	63日	2名	136日
合計	14名	437日	36名	761日	59名	1073日
平均入院日数	18.1日				令和4年度 39人 827日	

### ③要介護度別入院者状況

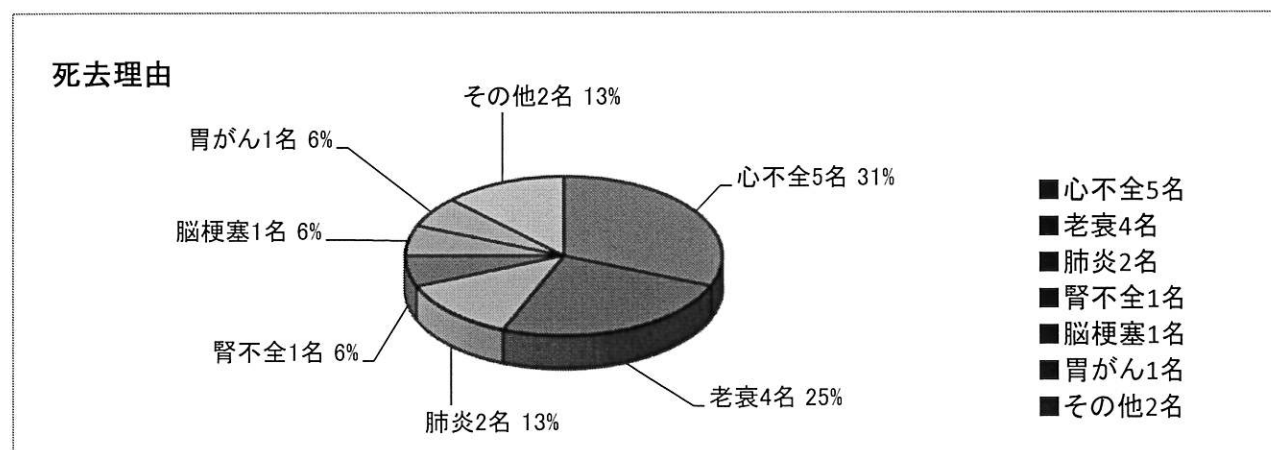
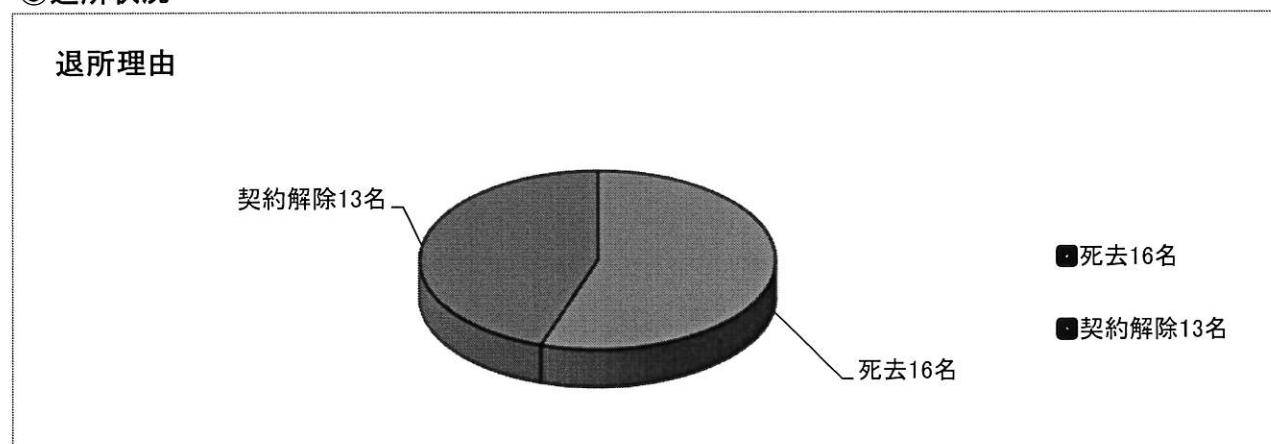
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
男性	0人	0人	2人	7人	2人	11人
女性	0人	0人	6人	15人	14人	35人
計	0人(0%)	0人(0%)	8人(17%)	22人(48%)	16人(35%)	46人

### ④入院時の主な疾患(一度の入院で複数病名がつく場合があります。)

原因疾患	呼吸器系疾患	消化器系疾患	脳血管系疾患	循環器系疾患	泌尿器系疾患	その他
件数	15	5	1	1	10	14



### ⑤退所状況



(5) 介護

重点目標	実施状況
<b>【日常生活支援】</b>	
<p>① コロナ禍において、感染症予防対策を強化し施設内での感染症発生の予防、拡大を防止する。</p> <p>② 引き続き、自立支援ケア(排泄・口腔機能維持・認知症ケア等)の取り組みを継続的に行っていく。また、褥瘡の予防ケアにも力を入れ、「褥瘡発生0」を目指していく。</p> <p>③ 居室担当が中心となり、利用者の細やかな情報まで発信し快適な生活を出来るようなチーム(グループ)を作っていく。また、ご家族との情報交換を密にし利用者様の生活支援に生かしていく。</p> <p>④ 活動制限によるストレス緩和の為、十分な感染対策の基に行える活動や催し物を企画する。また、ご家族とのLINE通話や窓越し面会も行って頂く。</p>	<p>① 業務中のマスク・フェイスシールドの着用や手指のアルコール消毒・1時間毎の換気など標準予防対策を徹底し、感染症の予防に努めた。また、職員自身の体調管理を行い「体調の異変を感じたら出勤しない」を徹底し施設内での感染防止に努めた。</p> <p>② スキンケア・口腔プロジェクトの取り組みを継続して行っている。その結果、利用者の変化(食事量の低下や皮膚状態の悪化など)に早い段階で職員が気づき、対応する事が出来た。褥瘡予防に関しては、スキンケア委員が中心となり予防ケアに努めたが、10件の褥瘡を発生させてしまった。</p> <p>③ 毎月1回のご家族への状態報告の電話や窓越し面会の時には、利用者の生活状況をご家族に伝える事が出来た。また、毎月ケース記録をご家族へ郵送していたが、より生活状況を分かり易く伝える為「写真付きのお手紙」を居室担当が作成し毎月ご家族へ郵送している。</p> <p>④ ご家族・利用者の希望に沿ってLINE通話や窓越しでの面会を実施した。また、感染症対策を十分に行った上で、10月には秋祭り・12月にはクリスマス会・3月には演芸会を施設全体行事を行う事が出来た。グループ単位での行事においても、季節毎に実施し、利用者から好評を得る事が出来た。</p>
<b>【地域参加】</b>	
<p>① 今年度も感染症の状況を見ながら地元小学校に出向き、福祉への理解が深まるよう福祉学習会を開催する。</p> <p>② 保育園や小学校と世代間交流を行う。(感染症の状況によってはビデオ録画やオンライン中継など間接的な交流会を企画する。)</p>	<p>① 新型コロナウイルス感染症が高止まりの状況が続き、令和4年度は学習会を企画する事が出来なかつたが、昨年に引き続き第4地域包括支援センター主催の介護予防教室に講師として出向いた。</p> <p>② コロナウイルス感染症の影響により直接的な交流は行っていない。</p>
<b>【人材育成】</b>	
<p>① 介護の専門性を高める為、定期的な勉強会を行う。</p> <p>② 新入職員が安心して仕事を覚えられるようプリセプター制度を継続し、職員の定着を図る。また、指導育成プログラムを使用し、職員の技術の可視化を図り全体的に係の底上げを目指す。</p> <p>③ 働きやすい職場環境を目的に、ICT化(業務の効率化)を図り介護負担の軽減に繋がるような介護ロボットや介護補助用具(離床センサー等)の導入も積極的に行う。</p>	<p>① 感染プロジェクトを中心にコロナウイルス対策に関する勉強会(コロナウイルス感染症の基礎知識やPPE(個人防護具)の脱着方法等)を開催し、感染対策についての理解と意識を深める事が出来た。また、若手職員を中心とした内部研修を企画し介護力の底上げを図った。</p> <p>② 引き続き新入職員に対し、プリセプター制度を活用(介護職員育成プログラムを使用)し人材育成を図った。計画的に指導・育成し着実に成長している。</p> <p>③ 新規入所や退院等で状態変化が著しい利用者については、離床センサーを導入しより安全かつ効率的に業務が行える環境を整備している。 また、眠りScan(注釈1)を20台増設し職員の精神的負担の軽減や更なる業務効率の向上に努めた。(特に夜勤職員の精神的負担を軽減する事が出来ている。)</p>

注釈1\_ マットレスの下に設置したセンサーにより、体動、呼吸、心等を測定し、睡眠状態を把握するもの。



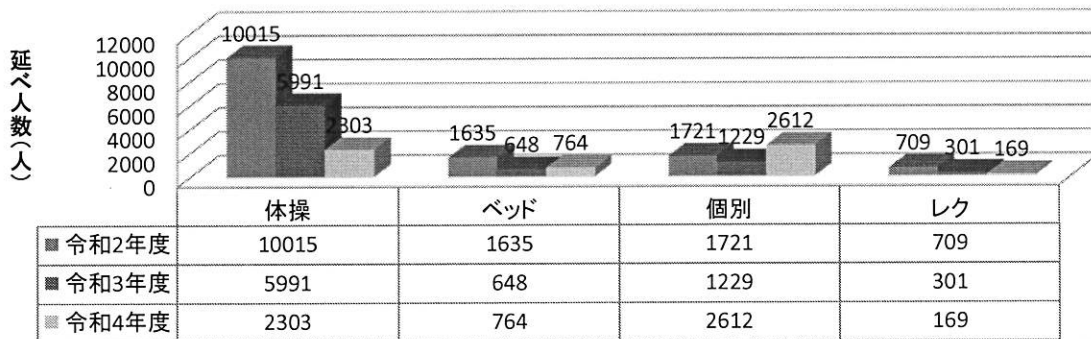
(6)機能訓練

重点目標	実施状況
<b>【個別のサービス提供】</b>	
①利用者の身体機能や体調等を踏まえた個別機能訓練を実施することにより、身体機能の低下を予防する。 また、必要に応じて評価を行い、積極的に多職種へ情報を発信する。	①利用者の状態に合わせた機能訓練を実施することで、利用者の身体機能や認知機能の低下予防に努めた。また、利用者へ急な状態変化等があった場合は随時身体機能評価を実施し、他職種へ向けて情報を発信することができた。令和4年度は令和3年度と比較すると、車椅子上の座位姿勢の確認(シーティング)の機会を多く設けたため、個別機能訓練の合計や1回平均の数値が増加したと考えられる。今後も、姿勢に着目した個別のサービス提供に取り組んでいきたい。
<b>【生活環境の設定】</b>	
①車椅子や座面クッション等、適した福祉用具を活用することで施設内の生活を安全・安楽な姿勢で過ごして頂く。 また、多職種と連携しながらシーティング・ポジショニングを検討する。	①利用者が安全・安楽な姿勢で過ごして頂けるように、多職種で連携しながら車椅子の選定や、車椅子上の環境設定について検討・整備することができた。また、車椅子上だけでなくベッド上の環境設定にも着目し、転落予防・褥瘡予防の観点も取り入れたシーティング・ポジショニングを実践した。今後は特に褥瘡予防に向けて、密に他職種と連携を図っていきたい。
<b>【みどり学校・おはよう体操】</b>	
①おはよう体操を実施することで定期的な運動の機会を作り、身体機能の低下を予防する。 ②みどり学校を開催することで利用者の生活おける楽しみを作り、認知機能の低下を予防する。	①定期的な体操の機会を作ることで、精神的な気分転換も兼ねつつ、身体機能の低下予防につなげることができた。令和3年度の数値と比較すると、令和4年度の方が感染症対策により一度に参加する人数を少なくして行っていたため、1回平均の数値が少ない結果となった。今後は感染対策の配慮もしつつ、より多くの参加者数を目指していきたい。 ②個々の興味に合わせたみどり学校(脳トレ)の問題を準備するように心掛けたことで、楽しみとして取り組んで頂き、認知機能の低下予防につなげることができた。今後もレクの機会の確保に向けて取り組んでいきたい。
<b>【地域への貢献】</b>	
①第4地域包括支援センター主催の予防教室や地区での出前講座へ講師として出張することで地域の介護予防に寄与する。	①機能訓練指導員の傷病休暇等もあり、予防教室や出前講座へ講師として出張することができなかった。次年度は講師として出張し、地域の介護予防に寄与していきたい。

①機能訓練実施状況

	項目	年回数	令和3年度				1回平均(人)		項目	年回数	令和4年度				1回平均(人)
			月平均(回)	男	女	合計					月平均(回)	男	女	合計	
令和3年度	体操	104	9	1,379	4,612	5,991	58	令和4年度	体操	120	10	585	1,718	2,303	19
	ベッドリハ	110	9	170	478	648	6		ベッドリハ	141	12	206	558	764	5
	個別機能訓練	169	14	289	940	1,229	7		個別機能訓練	172	14	732	1,880	2,612	15
	レククラブ	64	5	64	237	301	5		レククラブ	40	3	34	135	169	4

機能訓練参加人数(推移)



②機能訓練実施内容

おはよう体操	(月～金)	:準備体操・指の運動・リズム体操 ※感染症対策に留意し、体操の内容修正やマイクの使用、距離間の工夫等を行なっている。
ベッドリハビリ	(月～金)	:関節可動域訓練・ストレッチ・姿勢保持訓練(端座位・座位保持) ・ベッド上のポジショニング・寝返り動作訓練・起き上がり動作訓練
個別機能訓練	(月～金)	:車椅子自操訓練・車椅子上のシーティング ・立位訓練・歩行訓練 ※ケアプランに基づき実施
レククラブ	(月～金)	:みどり学校(計算問題、塗り絵等)・作業訓練(巧緻動作)
その他		:身体評価・ADL評価・機能訓練カルテの作成・機能訓練計画書の作成 ・生活における福祉用具の検討や環境設定の検討等

10 年間行事報告

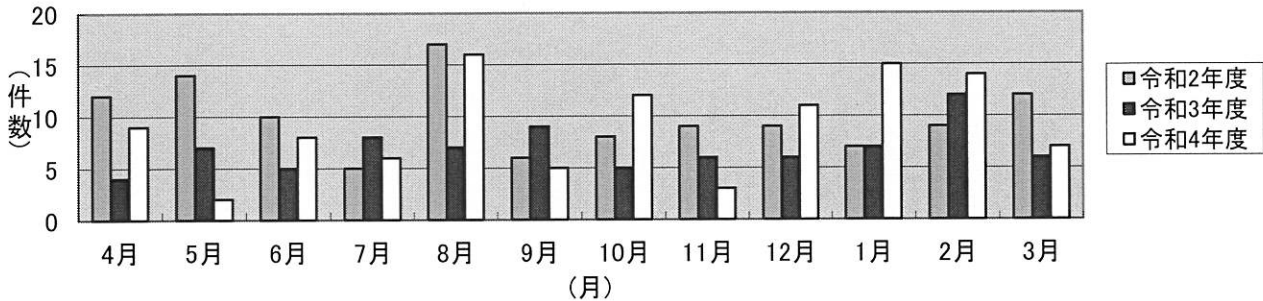
月	全体行事	日	グループレク活動							
			第1(虹)	日	第2(団らん)	日	第3(和楽)	日	第4(太陽)	日
R4 4										
5			お楽しみ昼食会	27日					母の日会	2日
6	菖蒲湯	7日	和菓子 パーティー	17日	豚汁 パーティー	15日			父の日会 キッチンみどり	19日 29日
7	張り子作成 桃湯	7/8 15・16・17	七夕会	6日	スイカ割り	13日	暑気払い	29日	賀寿お祝い会 アイス パーティー	1日 24日
8	スイーツビュッフェ	10日	スイカ割り	3日	かき氷 パーティー	31日			夏祭り	25日
9	アロママッサージ 生姜湯 昔遊び	12・16日 22・24・25日 26日	敬老会	15日						
10	喫茶店 秋祭り	28日 31日			芋煮会	17日	ハロウィン パーティー	23日	ハロウィン パーティー	20日
11	美容クラブ	21日	スープ パーティー	24日	スイートポテト パーティー	18日	焼き芋 パーティー	18日	焼き芋 パーティー	18日
12	クリスマス会 生け花	23日 29日	クリスマス会	26日	忘年会	26日				
R5 1	初釜 歳の神 鳥居作成	2日 13日 20日	書初め 新年会	2日 21日			年賀状作成	1日	新年会	27日
2	新春豆まき ゲーム大会 美容クラブ りんご湯	3日 14・16日 15日 20・21日			お菓子作り	26日	バレンタイン	16日	バレンタイン	18日
3	新春初笑演芸会 カフェみどり	2日 29日					ひな祭り	3日	ホワイトデー	18日
ボ ラン テ ィ ア 他 行 事	【他行事】 ・防災訓練(毎月1回) ・希望昼食会(毎月1回) ・対話会(毎月1回)									【ボランティア】 ※新型コロナウイルス感染予防対策として中止とした。

11 事故報告集計

①月別事故報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
令和2年度	12	14	10	5	17	6	8	9	9	7	9	12	118
令和3年度	4	7	5	8	7	9	5	6	6	7	12	6	82
令和4年度	9	2	8	6	16	5	12	3	11	15	14	7	108

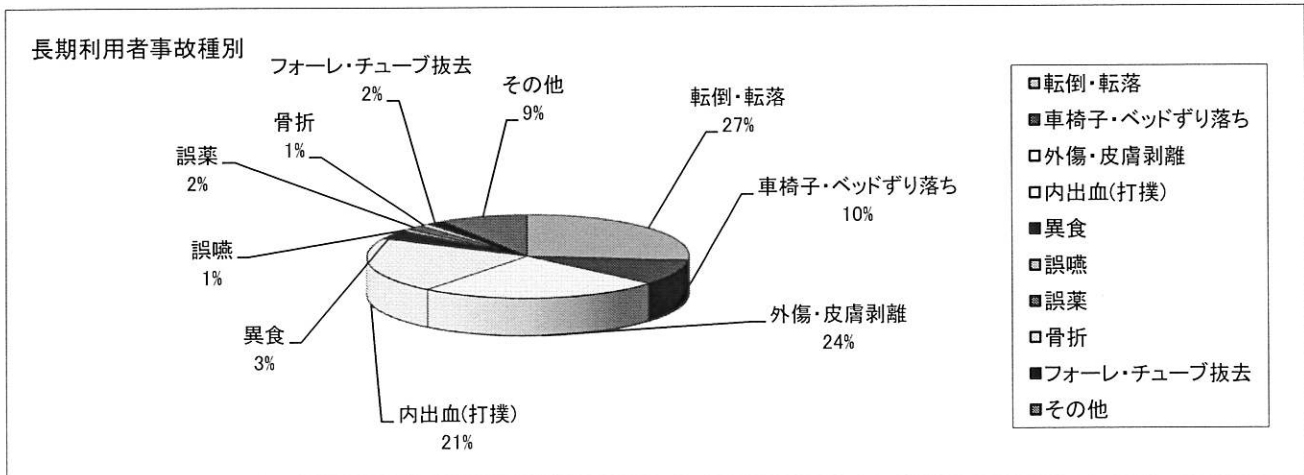
長期利用者月別報告件数



②長期利用者事故種別

事故種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(件)
転倒・転落	2	0	2	0	5	0	5	1	3	4	7	1	30
車椅子・ベッドずり落ち	1	0	1	1	0	0	1	0	4	0	3	0	11
外傷・皮膚剥離	1	0	2	0	6	3	4	1	1	6	2	1	27
内出血(打撲)	4	2	1	3	3	1	1	0	1	4	1	3	24
異食	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
骨折	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
フォーレ・チューブ抜去	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
その他	0	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	1	10
<b>事故合計</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>6</b>	<b>16</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>3</b>	<b>11</b>	<b>15</b>	<b>14</b>	<b>7</b>	<b>108</b>
ひやりハット合計	0	3	3	3	1	3	8	8	8	9	5	8	59
皮膚トラブル	2	6	2	3	6	2	1	1	8	2	13	5	51

※皮膚トラブル(褥瘡・失禁関連による発赤、ただれ等)



12 サービス評価(施設運営チェック)自己評価の結果について

年度	基本理念	人権の尊重	自立性主体性	アセスメントケアプラン	食事	入浴	排泄	整容・清潔	ターミナルケア	健康管理	衛生管理	機能回復訓練	レクリエーション
平成30年度	5	5	5	5	4.75	5	5	4.75	5	5	5	5	5
令和元年度	5	5	5	5	4.75	5	5	4.25	5	4.71	5	5	5
令和2年度	5	5	4.4	5	4.75	5	5	4.75	5	4.71	5	5	5
令和3年度	5	5	4.4	5	4.5	5	4	4.75	5	4.71	5	4.3	5
令和4年度	5	5	4.8	5	4.5	5	4.5	4.5	4.5	4.71	5	5	5

年度	移動	認知症高齢者	事故防止対策	災害対策	災害予防	ボランティア	他機関連携	広報情報開示	実習生	職員管理	事業計画基本方針	会計処理
平成30年度	5	5	5	5	5	4.5	5	5	5	4.8	5	5
令和元年度	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	5	5
令和2年度	4.5	5	5	5	4.6	4.5	4.3	5	5	4.8	5	3
令和3年度	5	5	5	5	4.6	4.5	4.3	5	5	5	5	5
令和4年度	5	5	5	5	4.6	5	3.6	5	5	5	4.6	5

(評価内容)抜粋

機能回復訓練	コロナ対策により中止していた「おはよう体操」や「みどり学校」などを再開し利用者の満足度、心身機能を高める事ができた。
他機関連携 事業計画・基本方針	計画していた認知症サポーター養成講座を兼ねた出前講座(神指小学校)について11月予定であったが施設内でもコロナウイルス感染症関連の休みが多く出ており体制も整わず実施できなかった。

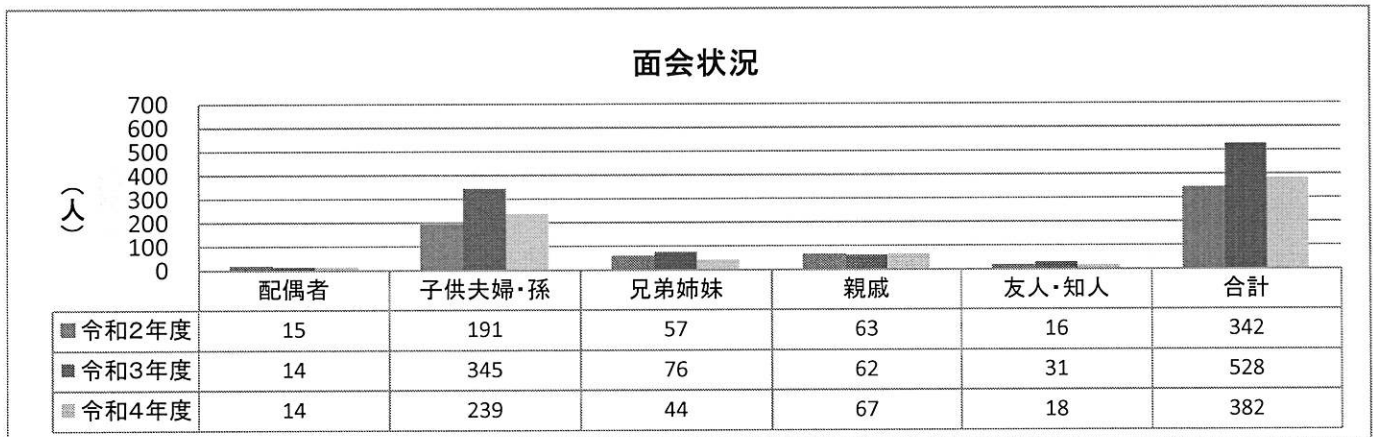
13 実習、見学受入れ状況

NO	実習依頼機関	人数	実習内容	延日数	実習期間	備考
1						
2	新型コロナウイルス感染症対策として、実習、見学を中止した。					
3						
4						
	合計	0		0		

14 面会状況(窓越し面会)

面会者 月	配偶者	子供夫婦・孫	兄弟姉妹	親戚	知人・その他	合計(人)
4月	4	20	12	3	2	41
5月	2	20	5	6	3	36
6月	2	20	9	8	1	40
7月	1	22	1	7	0	31
8月	1	26	3	6	1	37
9月	1	22	2	6	2	33
10月	0	22	3	6	1	32
11月	0	18	2	3	1	24
12月	1	17	3	3	1	25
1月	0	17	1	6	2	26
2月	0	17	1	7	3	28
3月	2	18	2	6	1	29
合計(人)	14	239	44	67	18	382

※面会は直接対面ではなく窓越し面会、または、オンライン(19件)による面会



15 外出・外泊状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外出泊者合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

16 介護職員初任者研修事業

応募人数	
受講者数	研修会は特養施設内実施の為、新型コロナウイルスの感染を考慮し開催を中止。
受講期間	
受講料	
採用者数	

17 職員研修受講状況

(1)特別養護老人ホーム施設内研修

研修受講人数:延べ944人

研修名	研修内容	研修月日	受講人数	場 所
施設内部研修 (4月)	・新型コロナウイルス対策マニュアルの説明 担当:感染プロジェクト	4月14日～27日 (5日間)	76人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (5月)	・事故発生時、緊急時の対応について 「食事中の窒息に対する異物除去と心肺蘇生法術」 担当:看護係	5月16日～5月27日 (5日間)	27人	会津みどりホーム 静養室
施設内部研修 (6月)	・令和4年度新採用研修 担当:特養各部署担当長	6月29日	6人	会津みどりホーム 介護者教育室
施設内部研修 (6月)	・個人情報保護、苦情解決制度 ・職員倫理について 担当:総務係	6月16日～27日 (6日間)	100人	会津みどりホーム 多目的ホール・リモート
施設内部研修 (7月)	・褥瘡対策に関する研修 担当:スキンケア委員会	7月8日～23日 (6日間)	48人	会津みどりホーム
施設内部研修 (8月)	・個人情報取り扱いマニュアルについて 担当:施設長	8月29日～9月1日 (5日間)	53人	会津みどりホーム 介護者教育室
施設内部研修 (8月)	・褥瘡予防について事例検討 担当:スキンケア委員会	8月22日～26日 (5日間)	28人	会津みどりホーム
施設内部研修 (9月)	・高齢者虐待防止について 担当:生活相談係	9月26日～30日 (5日間)	59人	会津みどりホーム 介護者教育室
施設内部研修 (10月)	・感染症及び食中毒の発生予防及びまん延防止 担当:感染予防プロジェクト	10月24日～11月7日 (5日間)	84人	会津みどりホーム 介護者教育室
施設内部研修 (11月)	・高齢者虐待防止について ・身体的拘束の廃止について 担当:生活相談係	11月22日、25日 (2日間)	22人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (11月)	・コロナウイルス感染症対応訓練 (PPE着脱、ゾーニングシュミレーション) 担当:介護長	11月27日～12月2日 (5日間)	71人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (11月)	・安全運転管理マニュアル 担当:総務事務係	11月10日～1月27日	67人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内部研修 (12月)	・看取り、医行為について ・食中毒について 担当:看護係・栄養調理係	12月20日～28日 (5日間)	64人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内研修 (1月)	・「LIFE」について 担当:総務事務係	1月11日～16日 (5日間)	20人	会津みどりホーム 多目的ホール
施設内研修 (1月)	・介護力向上研修会(基本ケア・認知症ケア) 担当:介護係	2月27日～3月3日 (5日間)	53人	会津みどりホーム 介護者教室・リモート
施設内研修 (2月)	・リスクマネジメントについて 担当:みどりデイサービス	2月27日～3月3日 (5日間)	44人	会津みどりホーム 介護者教室・リモート
施設内研修 (3月)	・腰痛予防について 担当:機能訓練係	3月6日～17日 (5日間)	71名	会津みどりホーム 介護者教育室
口腔ケア 勉強会	・認知症の嚥下障害について ・接触嚥下障害とは ・むし歯の原因と予防 ・国民歯科往診について ・要介護者の口腔ケアについて ・入れ歯が割れる原因 ・ノンクラスプデンチャー(部分入れ歯)について ・入れ歯と食事中のトラブルについて ・口腔ケアについて ・歯磨剤の使用法について ・要介護高齢者の咬合維持について ・オーラルフレイの予防と改善 講師:石田中央歯科 石田 高俊 氏	4月～3月 (全11回)	51人	会津みどりホーム 介護者教育室

## (2)職員研修受講状況(外部研修)

## ①特別養護老人ホーム

研修受講人数:延べ 76名

研修月日	研修名	受講者	場所
<b>介護支援専門員研修</b>			
5/13	会津若松市要介護認定調査員新任研修会	1名	会津稽古堂
8/19~10/4	介護支援専門員専門研修Ⅰ(オンライン研修)	1名	介護者教育室
11/1~17	介護支援専門員更新研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
11/2~12/23 11/7~12/5	介護支援専門員専門研修Ⅱ(オンライン研修)	2名	介護者教育室
<b>新型コロナウイルス感染症拡大防止研修</b>			
4/28	高齢者施設等に従事する看護職員向け新型コロナウイルス感染症対応に係るオンライン研修	1名	介護者教育室
5/13	高齢者施設に従事する看護職員向け新型コロナウイルス感染症対応に係る実技講習	1名	道の駅あいづ湯川・会津坂下
10/21	社会福祉施設看護等職員研修「新型コロナウイルス感染症対策・ゾーニングについて」(オンライン研修)	1名	介護者教育室
11/1	県内ハイリスク施設向け新型コロナウイルス感染症対策セミナー(オンライン研修)	1名	介護者教育室
<b>防災研修</b>			
6/16、17	甲種防火管理新規講習	1名	アピオスペース
<b>生涯研修</b>			
7/28、29 8/4、5	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員研修	2名	福島県総合社会福祉センター
9/21、22 9/29、30	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員研修	2名	福島県総合社会福祉センター
10/18、19	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダー研修	2名	福島県総合社会福祉センター
<b>老人福祉施設協議会研修</b>			
5/16	福島県老人福祉施設協議会「施設ケアマネ研修会」	1名	ビッグパレットふくしま
6/21、22、26	福島県老人福祉施設協議会「認知症ケア研修会」(WEB研修)	3名	介護者教育室
8/5	福島県老人福祉施設協議会「介護職員研修会」	1名	男女共生センター
8/23	福島県老人福祉施設協議会「オンライン職員交流会」(オンライン研修)	1名	介護者教育室
9/9、10、12、16、21	福島県老人福祉施設協議会「医務担当職員研修会」WEB研修	6名	介護者教育室
9/22	福島県老人福祉施設協議会「生活相談員研修会」	1名	コラッセふくしま
10/12	福島県老人福祉施設協議会「研修企画担当者向け研修会」WEB研修	2名	介護者教育室
<b>専門研修</b>			
5/20	福祉の職場におけるメンタルヘルス研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
5/24	短期専門講習「介護ストレスを不適切ケアにしない」(オンライン研修)	1名	介護者教育室
5/26	社会福祉施設等職員初任者基礎研修(オンライン研修)	2名	介護者教育室
6/14	短期専門講習「介護虐待・身体拘束」(オンライン研修)	3名	介護者教育室

6/22	医療的ケア教員講習会	1名	郡山市労働福祉会館
6/22、23	新人職員ネットワーク構築研修第1回(オンライン研修)	1名	介護者教育室
6/29	「退職共済事業」事務説明会(オンライン研修)	1名	短期事業所会議室
7/10	方部別研修会(会津)	1名	北会津保健センター
7/5、6、21、22、8/23	認知症介護実践者研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
7/15～10/7(計11日)	喀痰吸引等研修	2名	ウイズ・もとまち、ふくしま中町会館
8/4	介護施設における安全対策担当者養成研修(Eラーニング)	1名	介護者教育室
8/26	福祉サービスセミナー「高齢者虐待予防・身体拘束廃止について」	1名	福島県文化センター
8/30	高齢者権利擁護等推進事業看護実務者研修	1名	福島県看護会館みらい
8/31	バーセルインデックスの評価方法について(WEB研修)	1名	介護者教育室
7/27、28、29、8/16、17、18	認知症介護実践リーダー研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
9/8、9	新人向けOJT促進研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
10/4	中堅介護職員向け研修会(オンライン研修)	1名	介護者教育室
10/5	福祉サービスセミナー「褥瘡予防とケアの実践」	1名	福島県文化センター
10/19、20	新人職員ネットワーク構築研修第2回(オンライン研修)	1名	介護者教育室
11/1	リーダー介護職員向け研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
11/8、9	キャリアパス制度課題別研修「新任職員のモチベーション向上のポイント」(オンライン研修)	1名	介護者教育室
11/30	社会福祉施設栄養士研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
12/13、14	キャリアパス制度課題別研修「組織全体のモチベーションマネジメント」(オンライン研修)	1名	介護者教育室
12/8、9、12	施設入所・退所時の事務手続等対応研修(WEB研修)	5名	介護者教育室
1/13	認知症高齢者対応研修(オンライン研修)	1名	介護者教育室
1/16	会津若松市サービスの質の向上講演会「カスタマーハラスメントその予防や対策について」	1名	介護者教育室
1/18	自立支援総合研修「介護現場における口腔ケアについて」	1名	介護者教育室
1/24	高齢者施設・事業所等における虐待防止研修会(オンライン研修)	4名	介護者教育室
1/27	老人福祉施設職員研修Ⅱ「身体拘束の廃止に向けて」(オンライン研修)	1名	介護者教育室
2/9、10	キャリアパス制度課題別研修「人材育成において求められるコミュニケーション能力」(オンライン研修)	2名	介護者教育室
2/13	成年後見制度支援者向け研修会(オンライン研修)	3名	介護者教育室

## ②特別養護老人ホーム介護係勉強会

研修受講人数:延べ55名

研修月日	研修内容	受講者	場 所
11月	・介護力向上・褥瘡予防等に関する研修会	11名	多目的ホール
12月	・個人防護具の着脱について	44名	多目的ホール



## 18 防災訓練等実施状況

### ① 防災訓練実施状況

訓練実施日	訓練内容	事業所	参加者
4月13日	消防設備、器具説明、消火訓練及び災害時の対応(新人職員対象)	老人福祉合同	職員15名
5月11日	火災時行動訓練(日中想定)	老人福祉各拠点	職員67名 利用者104名
5月11日	安全対策自主点検(特養拠点)、自家発電設備自主点検	老人福祉各拠点	設備班
6月 8日	備品の確認(炊出班) 防災設備自主点検(短期拠点)	老人福祉各拠点	炊出班 設備班
6月24日	夜間通報訓練(抜き打ち)	老人福祉合同	職員85名
7月13日	水害時図上訓練及び食料品持ち出し訓練	老人福祉合同	職員34名
7月18日	新人対象火災時行動訓練(昼間想定)※6/24予定分を振替実施	老人福祉合同	職員2名
8月10日	火災時行動(昼間想定・ショートステイ出火)	老人福祉合同	職員40名 利用者41名
8月12日	火災時行動訓練(あいづ南花畑DS)	あいづ南花畑DS拠点	職員7名 利用者29名
9月14日	夜間想定避難誘導訓練(特養建屋)	老人福祉各拠点	職員17名 利用者20名
9月14日	火災想定総合訓練(特養発火夜間想定)	老人福祉合同	職員105名
9月14日	自家発電設備自主点検	特養拠点	設備班
9月26日	火災時避難誘導訓練(昼間想定・あいづ南花畑DS出火)	あいづ南花畑DS拠点	職員5名 利用者34名
10月12日	みどりDS発火想定訓練(昼間想定) ※近隣施設連携訓練:通報訓練実施	老人福祉合同	職員35名 利用者69名
10月12日	医薬品持ち出し物品確認	老人福祉各拠点	救護班
11月 9日	水害時行動訓練	老人福祉合同	職員23名
11月 9日	安全対策自主点検(短期拠点)	老人福祉各拠点	設備班
11月 9日	安全対策自主点検(あいづ南花畑DS拠点)		
11月10日	安全対策自主点検、自家発電設備自主点検		
12月5・8・12・15日	自然災害時における事業継続計画(BCP)説明	〃	職員57名
12月14日	地震時図上訓練	老人福祉合同	職員24名
1月11日	昼間想定火災訓練(新人対象)	老人福祉各拠点	職員3名
1月24日	夜間通報訓練(抜き打ち)	老人福祉合同	職員108名
2月 8日	地震時行動訓練	老人福祉合同	職員25名
3月 8日	安全対策自主点検(短期拠点)	老人福祉各拠点	設備班
3月10日	安全対策自主点検(特養拠点)、自家発電設備自主点検		
3月30日	安全対策自主点検(あいづ南花畑DS拠点)		
2月 8日	備蓄米の調理	老人福祉合同	職員3名
3月 8日	令和4年度防災訓練総括	老人福祉合同	防災委員

### ② 消防設備等点検状況

点検日	点検内容	事業所	点検実施者
5月20日	消防設備機器定期点検	会津みどりホーム	株式会社ホシノ
5月13日	消防設備機器定期点検	短期入所生活介護事業所	福島防災有限会社
4月22日	消防設備機器定期点検	あいづ南花畑デイサービスセンター	株式会社社会津防災設備センター
10月20日	消防設備機器総合点検	会津みどりホーム	株式会社ホシノ
11月 1日	消防設備機器総合点検	短期入所生活介護事業所	福島防災有限会社
10月18日	消防設備機器総合点検	あいづ南花畑デイサービスセンター	株式会社社会津防災設備センター

19 職員の配置状況(特別養護老人ホーム)

(1)職員配置の状況

(令和5年3月31日現在)

職種	施設長	事務員	生活相談員	介護員	看護員	機能訓練指導員	管理栄養士	栄養士	調理員兼栄養士	介護支援専門員	介護補助員	環境補助員	宿直員	合計
人数	1	3	2 [3]	33 [7] (7)	6 (1)	1	1	1	4 [1] (3)	[4]	(1)	(1)	(2)	52 (15)

( )は臨時職員数。[ ]は兼務職員数

(2)嘱託医の状況

診療科目	嘱託医師	診療回数
内科	佐藤 誠治	3回/月
内科	増戸 尚	2回/月
整形外科	山田真一郎	1回/月
眼科	米山 高仁	新型コロナウイルス感染症対策のため実施なし
耳鼻科	穴澤 卯恭	新型コロナウイルス感染症対策のため実施なし
歯科	石田 高俊	1回/月

20 職員の福利厚生(高齢者事業所全体)

【職員定期健康診断】 総延べ職員人数 187名(6/6、13、8/9、12/7、14、16、1/17~20 実施)  
 【腰痛検査】 (5月)105名 (3月)97名  
 【インフルエンザ】 133名(11月実施)A型B型混合接種  
 【生活習慣病予防健診】 37名(全国健康保険協会)

21 地域交流

開催日	行事名	場所
6月7日	会津大学短期大学特別講義(講師派遣) 栄養調理係:佐藤祐子(管理栄養士)	会津大学短期大学
7月13日	はつらつクラブ(講師派遣) 介護係:三瓶博(介護福祉士)	日新福祉会館
11月14日	顔晴れ運動教室(講師派遣) 介護係:三瓶博(介護福祉士)	緑町会館
11月21日	顔晴れ運動教室(講師派遣) 栄養調理係:佐藤祐子(管理栄養士)	緑町会館

22 施設整備・備品の状況(令和4年度増加分)

資産の種類	名称	数量	金額
その他固定資産	ティルト型車イス	3台	495,000円
	エアマットレス	2台	231,000円
	見守りセンサー(眠りスキャン)	20台	2,475,000円
	高圧受変電設備	1台	4,600,200円
	低床ベッド	1台	323,400円
	超低床ベッド	1台	306,900円
	業務用冷蔵庫	1台	299,200円
合計			8,730,700円

## [2] 会津みどりホームデイサービスセンター

### 1 運営経過及び総括

令和4年度は、自分らしい生活を送る事が出来るよう、日常生活動作の中から自分で出来る所は行なっていたなど、個々に合わせた上下肢の筋力維持・個別機能訓練の充実を図り、自立支援に繋げた。

コロナ禍ではあったが、感染対策を図りながら季節行事やレク活動を通して楽しみを持っていただくことで意欲を引き出し心身機能の向上に努めた。また、個々の利用者に合わせて柔軟な対応を行い信頼関係の構築に努めた。利用実績については、片柳デイサービス利用者の移行や新規利用者増加に伴い4月末より定員を35名とし利用者確保に努めた。下半期は会津管内のコロナ感染者増加に伴い利用減少が見られた月もあったが、年間を通じ安定した利用者数を確保する事ができ、年間8,212人、1日あたり31.82人の利用で前年度より1,140人の利用者増加、1,073万円の収入増となった。通所緩和サービス事業では年間993人、1日あたり平均3.8人の利用であった。(緩和デイサービス 定員10名 目標4人/日 利用率38.6%)

1日利用者数 31.82人/35人 利用率 90.9% (目標 90%)

利用定員：令和4年4月20日より33名から35名へ変更

### 2 事業計画の評価

※重点事業「利用者本位の質の高いサービスの提供」

重点目標	実施状況(評価)
[1] 自立支援に向けた個別機能訓練の強化	①日常生活動作、生活状況に合わせて上下肢運動を実施、又、退院後の筋力訓練を強化し身体状況回復に繋がった利用者もおられた。 ②たたみ物、おやつ作り等の意欲の働きかけ、食事前の口腔体操を行ない嚥下、生活機能維持に努めた。 ③機能訓練の内部研修会は1回のみ開催となった為次年度は定期的に開催したい。
[2] 個別ケアの充実と楽しみを持って頂くアクティビティ活動の提供	①感染対策を取りながら、季節イベントやレク活動を実施、運動と生活機能向上に繋がっていった。 ②利用者に合わせて食事の提供やイベント食を実施し、喜ばれていた。 ③利用者の身体状況に合わせて安全、安心な入浴の提供を実施した。
[3] 利用者・家族が安心して利用出来る信頼関係の構築	①感染防止対策に努め、環境整備の強化を行なった。又、定期的な防災訓練に参加し災害に対する備えの確認を行なった。 ②ご家族、ケアマネ、他事業所との情報共有を心がけ、連携を密にし柔軟な対応に努め信頼関係の構築を図った。 ③広報紙を発行し、ご家族に利用中の活動内容を見て頂き、関係機関には空き状況も含め、情報発信に努めた。

### 3 月別利用人数及び介護度

※( )内は利用者数

月	日数	利用延数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	21	708 (95)	16 (4)	42 (11)	80 (11)	263 (35)	137 (16)	58 (6)	105 (11)	7 (1)
5	22	676 (90)	10 (3)	41 (11)	84 (10)	239 (33)	130 (16)	60 (6)	112 (11)	0
6	22	719 (94)	14 (3)	43 (11)	80 (11)	253 (34)	144 (16)	74 (8)	111 (11)	0
7	21	672 (94)	10 (3)	45 (11)	76 (12)	234 (34)	141 (16)	73 (7)	91 (10)	2 (1)
8	23	692 (96)	9 (3)	49 (12)	88 (14)	245 (34)	132 (14)	77 (7)	88 (11)	4 (1)
9	22	683 (92)	4 (1)	52 (13)	79 (12)	221 (30)	118 (14)	113 (10)	82 (10)	14 (2)
10	21	698 (92)	1 (1)	53 (14)	77 (12)	237 (30)	114 (13)	117 (10)	87 (10)	12 (2)
11	22	667 (96)	8 (2)	61 (16)	71 (11)	244 (31)	94 (13)	90 (10)	89 (11)	10 (2)
12	21	635 (92)	7 (3)	55 (14)	73 (11)	226 (28)	110 (13)	85 (11)	64 (10)	15 (2)
1	20	648 (95)	11 (3)	61 (16)	64 (10)	240 (30)	97 (14)	83 (8)	80 (11)	12 (3)
2	20	651 (97)	9 (3)	62 (17)	62 (9)	239 (30)	96 (15)	78 (9)	82 (10)	18 (4)
3	23	763 (96)	9 (2)	78 (18)	69 (10)	298 (34)	112 (14)	81 (9)	98 (10)	23 (4)
計	258	<u>8,212</u>	108 (1.3%)	642 (7.8%)	903 (11%)	2,939 (35.8%)	1,425 (17.4%)	989 (12%)	1,089 (13.3%)	117 (1.4%)
一日平均		31.82	(前年27.41)	平均要介護度		1.74	(前年1.68)			

#### 4 月別行事実施状況

月	行事	レク活動	月	行事	レク活動
4	桜まつり(お花見) おやつ作り	○お手玉棒倒し ○逃げろチュウゲーム ○マッサージ	10	おやつ作り	○秋の収穫ゲーム ○ハロウィンパーティー ○手探り寄せゲーム
5	母の日会	○制作活動 ○鯉のぼりを飛ばせ ○テーブルバレー	11	秋の大運動会 おやつ作り(きゃあ餅)	○重ねてドン ○ペーパー綱引き
6	父の日会(しょうぶ湯)	○フラワーゲーム ○目玉焼きひっくり返しゲーム ○言葉作りゲーム	12	クリスマスケーキ作り	○トナカイを追えゲーム ○赤と黒 ○輪投げ
7	七夕会 おやつ作り(かき氷)	○テーブルテニス ○あっちへほい ○風船かご入れ	1	新春茶話会(福引き大会) 新年会 団子さし	○書初め ○パターゴルフ ○雪合戦
8	盆祭り大会	○画伯ゲーム ○水中基石入れ ○パラソル輪投げ	2	節分 冬祭り	○おやつ作り ○ミラクルビンゴ ○ダーツで遊ぼう
9	敬老会	○虫釣りゲーム ○スポンジにぎにぎ ○虫釣りゲーム	3	ひな祭り会	○グラグラゲーム ○お手玉ツムツム ○カップスタックス

#### 5 職員の配置状況

(人)

職種	管理者	生活相談員	介護員	看護職員	機能訓練	合計	( ) は兼務 【 】はパート
人数	(1)	4 (4)	12 (6) 【2】	4 (4)	4 (4)	12人	

#### 6 利用者要介護度別割合

事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
9人	78人	69人	285人	120人	81人	98人	23人
1%	10%	9%	39%	15%	11%	13%	2%

#### 7 利用者介護度変更状況

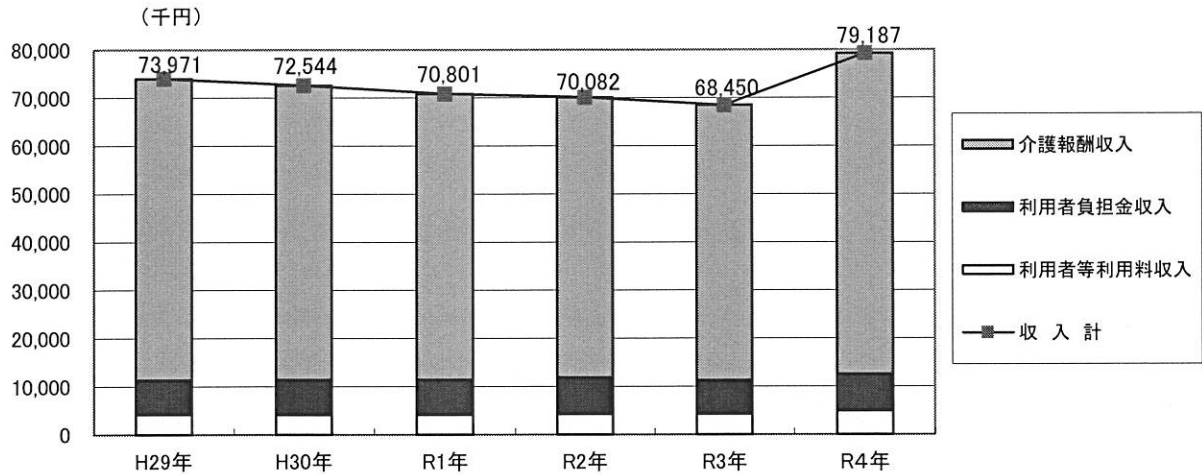
要介護度変更効率				
年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
維持率	79.3%	76.4%	76.4%	74.4%
改善率	0.1%	10.9%	10.8%	2.4%
悪化率	20.6%	12.7%	12.8%	23.2%

#### 8 事故発生状況

種 別	報告件数 (件)
転倒	11
尻もち	3
ずり落ち	2
異食	1
膝つき	1
合計	18
ひやりハット	1
その他	補聴器紛失

9 事業実績の状況

介護保険収入状況(みどりデイ)



(指定通所介護事業所)

(円)

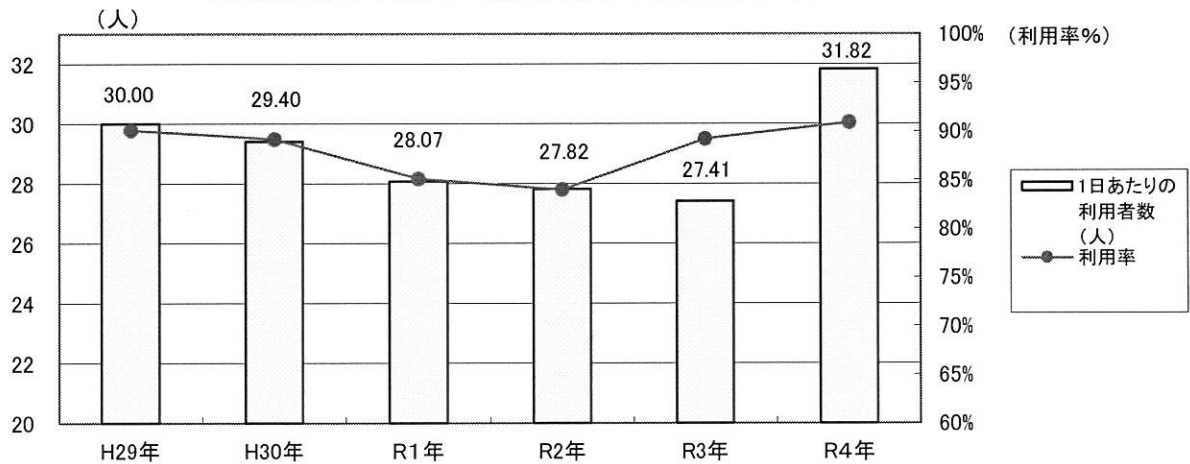
	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
介護報酬収入	62,629,498	61,164,226	59,428,021	58,229,834	57,207,902	66,641,947
利用者負担金収入	7,128,814	7,288,218	7,231,832	7,570,383	7,009,920	7,638,558
利用者等利用料収入	4,213,000	4,091,451	4,141,350	4,282,252	4,232,400	4,906,800
収入計	73,971,312	72,543,895	70,801,203	70,082,469	68,450,222	79,187,305

※1平成29年7月より定員30名から33名へ

※2令和3年4月より定員33名から30名へ、令和4年1月より30名から33名へ

※3令和4年4月より定員33名から35名へ

1日あたりの利用平均数と利用率(みどりデイ)



(指定通所介護事業所)

	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
利用延べ人数(人)	7,709	7,533	7,217	7,150	7,072	8,212
1日あたりの利用者数(人)	30.00	29.40	28.07	27.82	27.41	31.82
利用率	90.09%	89.16%	85.09%	83.97%	89.20%	90.90%
稼働日数(日)	257	256	257	258	258	258

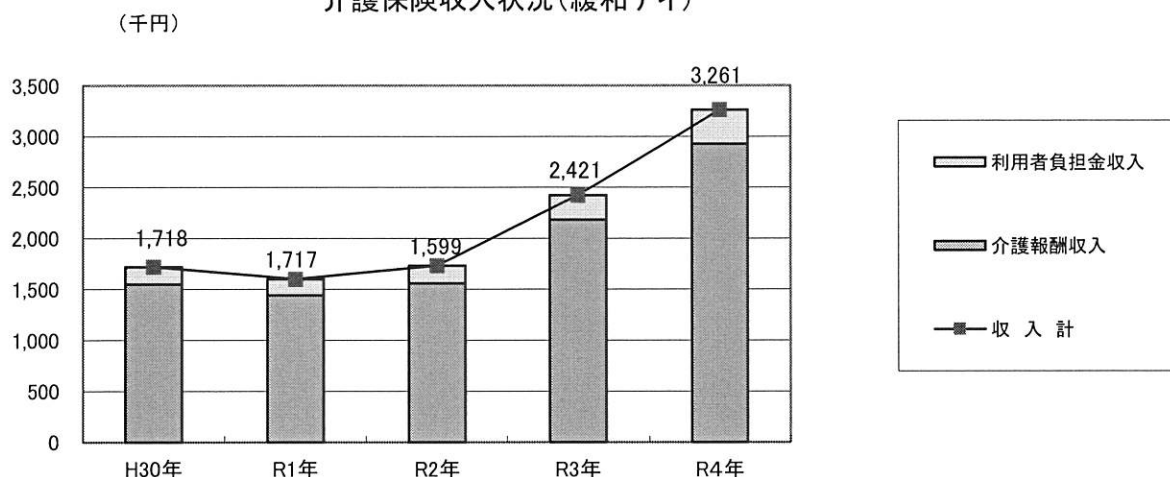
※1平成29年7月より定員30名から33名へ

※2令和3年4月より定員33名から30名へ、令和4年1月より30名から33名へ

※3令和4年4月より定員33名から35名へ

10 事業実績の状況

介護保険収入状況(緩和デイ)

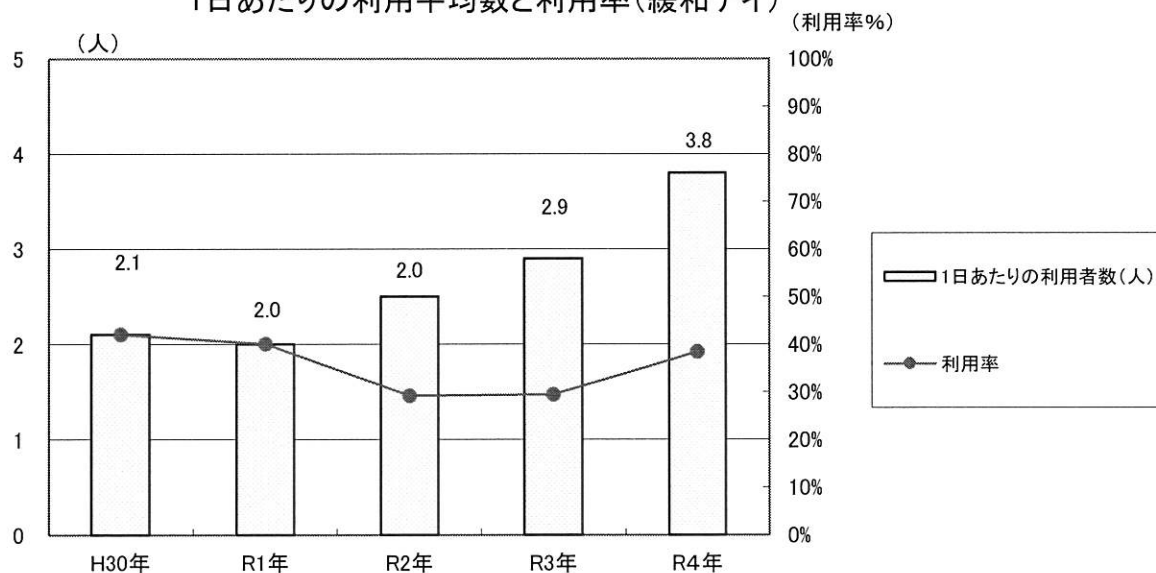


(指定緩和通所介護事業所)

(円)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
介護報酬収入	1,548,459	1,442,052	1,556,811	2,181,762	2,927,516
利用者負担金収入	169,084	157,892	172,979	239,303	333,684
収入計	1,717,543	1,599,944	1,729,790	2,421,065	3,261,200

1日あたりの利用平均数と利用率(緩和デイ)



(指定緩和通所介護事業所)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
利用延べ人数(人)	538	514	561	759	993
1日あたりの利用者数(人)	2.1	2.0	2.5	2.9	3.8
利用率	42.0%	40.0%	29.1%	29.4%	38.4%
稼働日数(日)	256	257	258	258	258

令和2年10月から定員5名から10名へ

### [3] 会津若松市若松第4地域包括支援センター

#### 1 事業の総括

感染予防策を強化しながら担当する4地区の高齢者の総合相談の窓口として支援活動を行って来た。コロナ感染予防策を継続してきた事で、感染が広がる事は無く事業を継続する事が出来た。

感染予防の観点から電話での状況確認も交えて支援し、訪問回数が減る事での担当する利用者との信頼関係の構築に配慮してきた。新規の相談依頼には迅速な対応を心掛けてきた。

サロン活動については、地区の住民の意向で再開になった地区があれば依然再開できない地区がある。ここ数年地区の住民が集まる機会が減っている事は今後の課題となっている。その反面「いきいき百歳体操」の活動は、新たに5地区で立ち上げがあり、継続できるよう市と包括で活動支援を行って来た。

令和4年度も、職員のスキルアップとしてオンラインを中心に研修に参加してきた。包括で必要な専門資格の取得や専門知識を習得できる機会になり、有意義な研修参加とすることができた。

ICTの活用により、法人内部の会議や専門部会などについては、オンラインでの開催を主として行う事で効率化につなげる事が出来ていた。また、市と7包括共通のメールの活用も進み、タイムリーに情報共有と意見交換が出来ている。年間の総合相談の延べ件数は、15,271件となっている。予防件数合計で4,610件の作成をおこなった。目標395件(月)/384.7件(月実績)

#### 2 重点事業

##### 1. 包括支援事業の推進

ZOOMの活用により、集合しなくても顔の見える状況で事例検討会や研修を実施出来た。年間計画の作成は出来なかったが、年度末には圏域内の居宅事業所と、次年度の勉強会の企画について話し合う事が出来た。在宅部門との勉強会はDS事業所と行い今後も継続して行っていく予定。

##### 2. 地域の各種団体との連携の強化

神指地区では多くの区で区長が交代になり、ミニケア会議を年度の早い時期に開催した。その後の会議でも防災について住民が関心を持てるように働きかけ、特に水害についての地域課題がある事を共有する事が出来た。ミニケア会議については、永和地区・城北地区でも開催し、地域の支援者と心配な高齢者の情報交換が出来た。地域ケア会議協議体の中では、8期計画で抽出した地区ごとの課題について話し合いを進めてきた。コロナの影響で開催が中止になる事があったが、介護予防と集まりの場を作る事での話し合いで、「いきいき百歳体操」について周知し、その後の立ち上げに繋げることができた。

##### 3. 地区内の高齢者の見守り体制の強化

高齢世帯を中心とした実態把握は、相談があった時に生活状況の把握に努めてきた。高齢世帯の相談は増加傾向であり、次年度は日新地区で高齢世帯の把握に力を注ぐ予定。地区内の商店金融機関との連携では、買い物支援についての話し合いに参加し今後必要な地区で展開予定。

##### 4. 認知症高齢者への対応と関係機関との連携

小学校での認知症サポーター養成講座は、圏域内や法人内のメイトと協力し、学区内の小学校で開催できた。小学生が認知症について学ぶ機会となり、優しく接する大切さを感じてもらえた。圏域内の医院との情報共有会は、オンラインで行った。認知症の心配な患者さんの情報共有の場となり、病気の心配がある方はその後の実態把握と相談に繋げることができた。医師や看護師と顔の見える関係作りが出来て、その後の連携強化に役立っている。

##### 5. 介護予防事業の充実

介護予防教室については、感染対策を強化して、法人内講師や介護予防の講師の協力を得て開催してきた。地区の代表者と都度相談し、従来通り集会所に集まる形での開催が多かった。元気はつらつ便りの発行を継続し、民生児童委員や共生福祉相談員の協力を得ての配布、地区内の医療機関・薬局などへの配布時に心配がある高齢者の情報共有を行う事ができた。

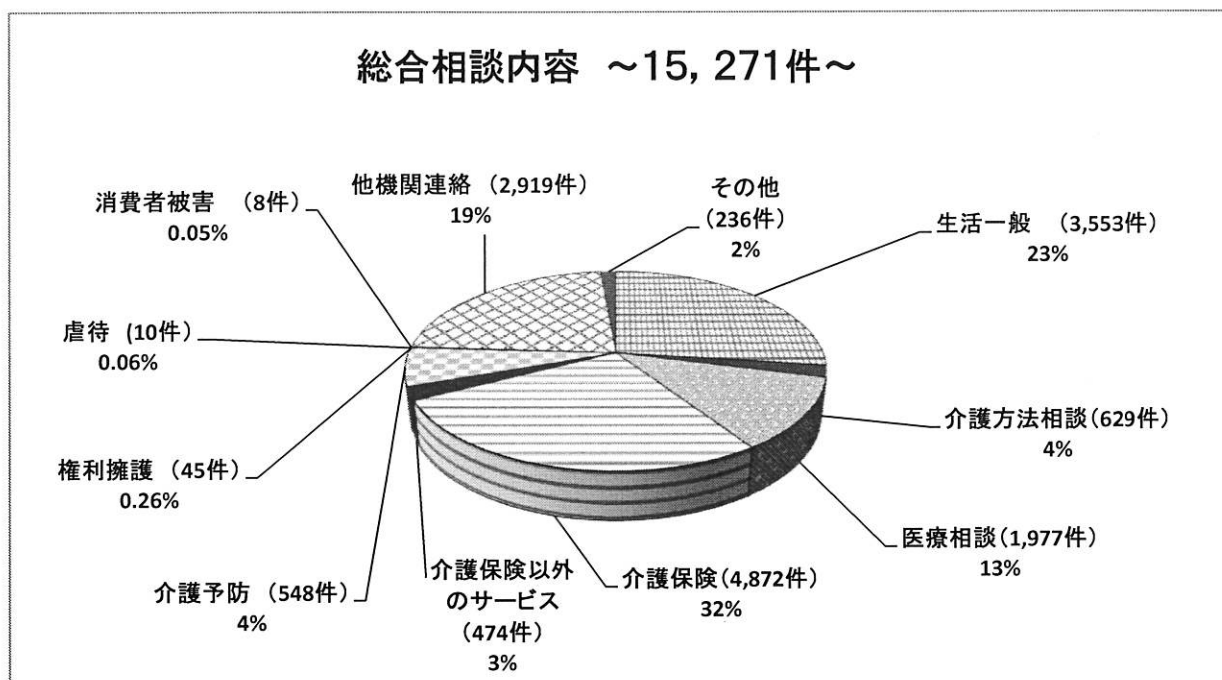
##### 6. 重層的支援体制の整備

家庭内に複数の問題を抱えているケースについては、他分野の支援者と市、必要な機関を交えての個別ケア会議を開催し、支援状況の共有と今後の支援の方向性を話し合ってきた。

##### 7. 高齢者の常時非常時の安全の確保

感染対策として、感染状況を常に把握し法人内での話し合いを重ね、「感染しない」「人にうつさない」「持ち込まない」を目標に、対象となる高齢者にも周知を呼びかけ感染対策を強化してきた。

3 総合相談件数と内容 ・相談延人数 9,551人  
 ・相談実人員 1,164人



4 介護支援専門員等勉強会

	開催日	開催方法	内 容	参加者
1	5月11日	リモート	ケース検討会「独居、環境悪化、家族との関係性が悪くサービスに繋がらない、支援のすすめ方の検討」	12名
2	7月15日	リモート	介護保険制度の疑問点と対応、福祉用具の例外給付について	31名
3	8月3日	リモート	ケース検討会「高齢夫婦、妻の認知症の進行があり今後の生活の支援についての必要な視点について」	11名
4	11月18日	リモート	ケース検討会「意欲低下している方への支援方法、家族の意向に引っ張られるケースについて」	14名
5	2月1日	リモート	ケース検討会「認知症が進行しているがサービスに拒否的なた、どのようにかかわっていけば良いか」	12名

5 共生福祉相談員定例会

	開催日	内 容
1	5月11日	活動に関する情報交換
2	8月10日	活動に関する情報交換
3	11月15日	ケアエールについての説明・情報交換
4	2月10日	活動に関する情報交換



## 6 地域ケア会議

	開催日	開催地区	内 容
1	4/14	永 和	新型コロナウイルス感染症感染を考慮し中止
2	4/27	日 新	新型コロナウイルス感染症感染を考慮し中止
3	5/26	城 北	「いきいき百歳体操」と「地域サロン」を広めていきましょう
4	5/31	日 新	地域で行われている活動の様子、「いきいき百歳体操」と「地域サロン」を広めていきましょう
5	6/14	中ノ明ミニ	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について、地図での情報交換・地域活動について
6	6/30	神指ミニ	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について、地域の方との情報交換
7	7/4	神指ミニ	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について、地域の方との情報交換
8	7/11	神指ミニ	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について、地域の方との情報交換
9	8/25	永 和	高齢者の介護予防の推進と楽しく集まれる場づくりについての話し合い
10	8/25	駅前ミニケア	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について、地域の方と情報交換
11	10/18	鶴沼ミニケア	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について、地域の方と情報交換
12	10/20	神 指	市・危機管理課：一条氏より「自然災害が起きた時の備え、一人一人の動き」、要支援者名簿の活用
13	12/9	城北ミニケア	新型コロナウイルス感染症感染を考慮し中止
14	12/16	高野ミニ	ミニケア会議の目的、包括の役割・活動について、地図での情報交換・地域活動について
15	1/18	神 指	危機管理課出前講座「神指地区の防災と災害リスクについて」・災害直後の対応についてのグループワーク
16	2/21	永和	高齢者の介護予防の推進と楽しく集まれる場づくりについての話し合い
17	3/10	城北	高齢者の介護予防の推進と楽しく集まれる場所づくり
18	3/17	日新	地域で行われている高齢者の活動の情報共有・楽しく集まれる場づくりについての話し合い

## 7 認知症サポーター講座

	日 時	場 所	参加者	内 容	参加人数
1	6月27日	中前田集会所	地域住民	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	18 名
2	9月14日	日新小	日新小 4年生 [14:00～14:45]	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	61 名
3	9月29日	城北コミセン	地域住民	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	8 名
4	11月8日	城北小	城北小 4年生 [10:30～12:00]	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	55 名
5	2月14日	永和小	永和小 4年生	・認知症についての講義 ・認知症高齢者への対応～寸劇～	11 名

## 8 家族介護者交流会

	日 時	場 所	内 容	参加人数
1	7月12日	ロータスウッド ヴィレッジ	オリジナル アロマスプレー作り 講師：時末 耀 氏	3 名
2	9月13日	ロータスウッド ヴィレッジ	ハーバリウム作り 講師：渡部 美和 氏	5 名
3	10月19日	ロータスウッド ヴィレッジ	「脳とからだのストレッチ」 講師：小規模多機能型居宅介護 オレンジ 管理者 青木 智子 氏	5 名

## 9 サロン活動支援

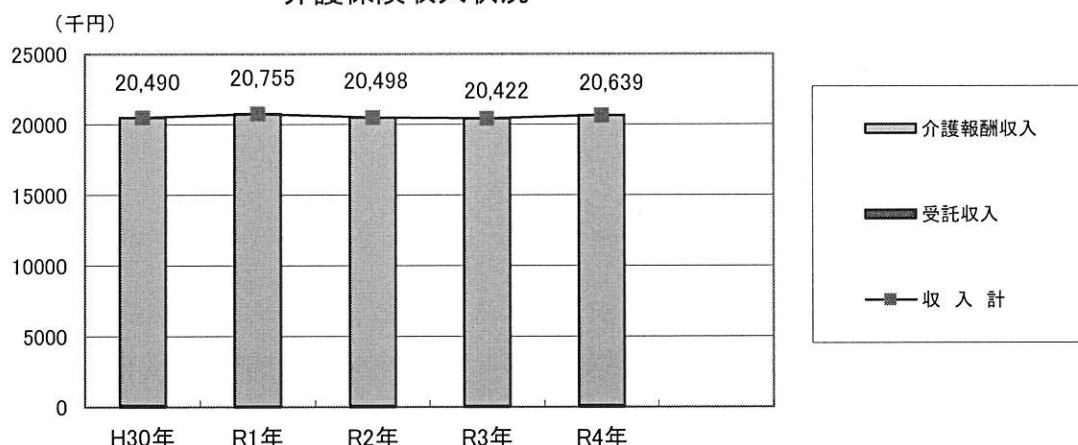
団体名	内 容	回 数
上高野サロン	スカットボール・軽体操・お茶会・講話「健腸長寿と免疫の話」会津ヤクルト販売(株)・社会福祉協議会、ポッチャ・総会	3 回
元気発信 かみこうざし	社会福祉協議会 馬場みさ先生による軽体操・お茶会・講話「人生会議」もしばなゲーム 軽体操・リンパマッサージ	3 回
ふれあいサロン 横沼	社会福祉協議会 松本かおり先生による軽体操・ゲームレク[ジェンガ]・お茶会	2 回

	開催日	場 所	内 容	参加人数	
1	4月5日 (火)	界沢集会所	「介護予防体操」 「ゲーム・ポッチャ」 社会福祉協議会・山田 直美 先生	界沢ひまわりサロン 出前講座	14 名
2	4月13日 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 社会福祉協議会・馬場 みさ 先生	元気はつらつ教室	9 名
3	4月19日 (火)	緑町会館	「介護予防体操」 第4包括支援センター	出前講座 みどりハッスル会	11 名
4	4月20日 (水)	金川町児童会館	「介護予防体操」 第4包括支援センター	出前講座 いきいきサロン金川町	32 名
5	4月28日 (木)	鶴沼集会所	「介護予防体操」 第4包括支援センター	出前講座 鶴沼コスモス会	7 名
6	5月11日 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 社会福祉協議会・馬場 みさ 先生	元気はつらつ教室	9 名
7	5月23日 (月)	五月町ふれあい 会館	「介護予防体操」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	16 名
8	6月8日 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 社会福祉協議会・馬場 みさ 先生	元気はつらつ教室	9 名
9	6月21日 (火)	緑町会館	「介護予防体操」 第4包括支援センター	出前講座 みどりハッスル会	11 名
10	6月23日 (木)	鶴沼集会所	「介護予防体操」 第4包括支援センター	出前講座 鶴沼コスモス会	6 名
11	6月27日 (月)	五月町ふれあい 会館	「介護予防体操」 レクリエーションコーディネーター・渡部 よう子 先生	元気はつらつ教室	17 名
12	7月13日 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 運動指導員・三瓶 博 氏	元気はつらつ教室	7 名
13	7月28日 (木)	五月町ふれあい 会館	「介護予防体操」 増子宮子先生	元気はつらつ教室	14 名
14	8月22日 (月)	北公民館	「介護予防体操」 講話「介護保険制度とは」「高齢者の健康づくり」 第4包括支援センター	出前講座 いなほふれあい学級	10 名
15	8月24日 (水)	金川町児童会館	「認知症予防体操」 講話「認知症について」 第4包括支援センター	出前講座 いきいきサロン金川町	26 名
16	9月2日 (金)	界沢集会所	講話「口腔ケアで健康づくり」「介護予防体操」 第4包括支援センター	界沢ひまわりサロン 出前講座	8 名
17	9月14日 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 社会福祉協議会・馬場 みさ 先生	元気はつらつ教室	7 名
18	10月12日 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 日本3B体操協会・村上 弘子 先生	元気はつらつ教室	7 名
19	10月18日 (火)	石堂子ども会館	「健腸長寿と免疫の話」 会津ヤクルト販売(株) 常務取締役 五十嵐 敏 氏	元気はつらつ教室	6 名
20	10月19日 (水)	北公民館	講話「人生会議」・在宅医療・介護連携支援センター 大堀 氏 「介護予防体操」 第4包括支援センター	出前講座 はつらつクラブ	10 名
21	10月20日 (木)	鶴沼集会所	「介護予防体操」 講話「認知症について」 第4包括支援センター	出前講座 鶴沼コスモス会	8 名
22	11月7日 (月)	緑町会館	「介護予防体操」 講話「高齢者の健康づくり」 第4包括支援センター	顔晴れ運動教室	11 名
23	11月9日 (水)	日新福祉会館	「介護予防体操」 日本3B体操協会・村上 弘子 先生	元気はつらつ教室	6 名
24	11月14日 (月)	緑町会館	「介護予防体操」 会津みどりホーム 介護予防運動指導員・三瓶 博 氏	顔晴れ運動教室	8 名
25	11月16日 (水)	町北集会所	「介護予防体操」 講話「介護保険制度」「高齢者の健康づくり」 第4包括支援センター	出前講座 高齢者学級	18 名
26	11月21日 (月)	緑町会館	講話「免疫力アップの食事について」 会津みどりホーム 管理栄養士・佐藤 祐子 氏 「介護予防体操」 第4包括支援センター	顔晴れ運動教室	8 名
27	11月28日 (月)	緑町会館	「介護予防体操」 講話「口腔の健康について」 第4包括支援センター	顔晴れ運動教室	8 名
28	2月9日 (木)	鶴沼集会所	「介護予防体操」 講話「認知症について」 第4包括支援センター	出前講座 鶴沼コスモス会	7 名
29	2月15日 (水)	神指分館	「介護予防体操」 第4包括支援センター	出前講座 はつらつクラブ	13 名
30	2月22日 (水)	五月町ふれあい 会館	「介護予防体操」 日本3B体操協会・村上 弘子 先生	元気はつらつ教室	15 名
31	3月22日 (木)	日新福祉会館	「介護予防体操」 悠悠いきいき倶楽部・鈴木あけみ氏	元気はつらつ教室	6 名
32	3月23日 (水)	五月町ふれあい 会館	「介護予防体操」 日本3B体操協会・村上 弘子 先生	元気はつらつ教室	10 名
				合 計	354 名

※コロナ感染拡大を防ぐために、数回中止した

11 事業実績の状況

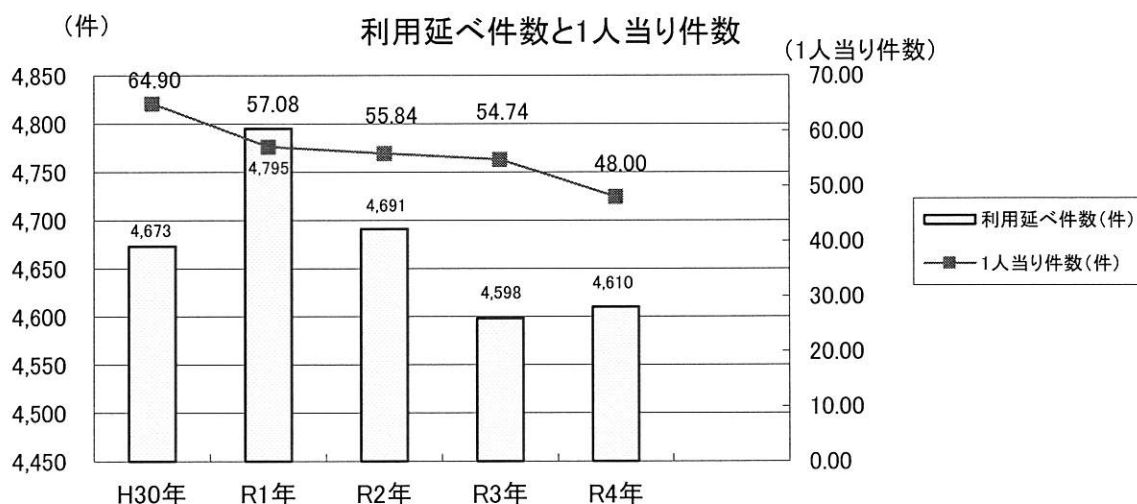
介護保険収入状況



(指定介護予防支援) (円)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
介護報酬収入	20,393,400	20,709,410	20,405,440	20,364,040	20,536,920
受託収入	97,100	46,010	92,580	58,650	102,360
収入計	20,490,500	20,755,420	20,498,020	20,422,690	20,639,280

平成29年度より日常生活支援総合事業が開始となり、市へ請求していた受託収入が介護報酬収入へ切り替わっている。



(指定介護予防支援)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
利用延べ件数(件)	4,673	4,795	4,691	4,598	4,610
1人当り件数(件)	64.90	57.08	55.84	54.74	48.00
プラン作成職員数(人)	6	7	7	7	8
稼働日数(日)	245	240	243	243	244

12 職員配置の状況

職種	配置状況	人数
管理者・社会福祉士	専任	1名
看護師	専任	2名
主任介護支援専門員	専任	1名
社会福祉士	専任	2名
認知症地域支援推進員	専任	1名
生活支援コーディネーター	専任	1名
事務員	専任	1名

令和5年3月31日現在

## [4] 短期入所生活介護事業所会津みどりホーム

### 1 運営経過及び総括

令和4年度も、利用者の個別ニーズへの対応や心身機能の維持、認知症の方へのアプローチなど、専門的な視点での関わりができるよう、多職種協働で取り組んだ。事業所の体制としては、夜間帯の職員を手厚く配置し、機能訓練指導員も専従とした。

1年を通して新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、法人での集団ワクチン接種の実施や環境整備、マニュアルや感染についての勉強会、職員や利用者の体調管理を行ってきたが、11月に事業所内で感染が発生し12月まで影響が及んでしまった。

実績については、上半期は順調だったが11月と12月が影響し、目標稼働率を達成することができなかった。

1日の利用者数 36.9人/40人	稼働率 92.3% (目標 95%)
-------------------	--------------------

### 2 重点目標の評価

#### 1. 良質なサービスの提供

- ①窓口の相談員が詳しい生活情報や細かな要望を聞き取り、入所後は介護・看護と情報共有しながら、できるだけ個々にあった環境整備や支援を心掛けた。又、心身機能の維持向上など、機能訓練の要望も多くなっており、機能訓練指導員が中心となり対応した。又、医療頻度が高い方（経管栄養や褥瘡処置など）も積極的に受け入れ、多様なニーズに答えるよう努めた。
- ②家族や関係機関への報告・連絡・相談を意識し、細かなことでもタイムリーに行ったことで良い関係を築くことができ、ケアマネジャーからの新規ケースの紹介へもつながった。
- ③認知症ケアへの理解を深めるため外部研修に参加し、更に他の職員へ内部研修として伝達することで、職員のスキルアップを図った。又、認知症の症状が顕著な方を選定し、個別に関わっていくことで症状の改善がみられ、介護者としての自信にもつながった。
- ④楽しみの食として、毎月1日の昼食にご当地メニューを提供した。「戦国武将物語」と題し、全国各地の武将に扮装した職員が戦いを繰り広げ、イベントととして盛り上げた。又、祝日のお祝い膳やスイーツバイキングなども好評を得た。
- ⑤令和5年2月に「利用者満足度調査」を実施し、ご意見・ご要望の他に多くのお礼や感謝の言葉などをいただき、職員の励みになった。

#### 2. 事故の予防と体調管理

- ①新規利用者は転倒スコアシートを作成し、転倒リスクが高い方については職員見守りや、離床センサー（見守り支援機）を活用した。又、毎月の会議で、事故やヒヤリハット報告から事故を分析し、多職種で協議し対策を共有することで事故防止に努めた。又、個々にアセスメントし、それぞれにあった環境整備（ベッドや椅子の配置など）を行い、安心して生活できる空間など工夫した。
- ②皮膚トラブル予防の為、入所時の皮膚確認の徹底やアセスメントによる褥瘡ハイリスク者の洗い出し、職員間での情報共有に努め予防対策に注力した。

#### 3. 感染症対策の徹底

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症マニュアルをもとに、職員、利用者の体調管理や環境整備、事業所内の消毒、感染症勉強会など対策を実施してきたが、11月から12月にかけて事業所内でコロナ感染が広がり、利用者・職員27名が感染した。特に利用者は、ほとんどの方が入院できず事業所内療養となったことで、期間も長期化してしまった。収束後は、職員の定期的な抗原検査の実施や、マニュアルの見直し、勉強会や職員の感染に対する意識の再確認など、更に対策を強化した。

#### 4. 機能訓練と余暇活動の充実

10月より機能訓練指導員を専任とし、感染症対策をとりながら個別・集団リハビリ、レクリエーション、頭の体操など少人数や実施方法を工夫して、心身機能の維持向上や楽しみの提供に努めた。行事は季節感を大事にアイデアを出し企画したが、感染症の流行によりクリスマス会は中止とした。その他の行事は、縮小するなどしてできるだけ実施した。

5. 働きやすい職場環境

職場環境改善班（スマイルプロジェクト）を中心に、成功体験の共有や困り事の相談、コミュニケーションについての内部研修会を開催し、職員間の良好な関係構築、維持に努めた。又、2月に眠りスキャン（見守りセンサー）10台を導入し、職員の身体的・精神的負担の軽減を図っている。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）については、継続できない、一部の職員が出来ていないなど、今後も継続的に取り組んでいく必要がある。

3 地域での活動

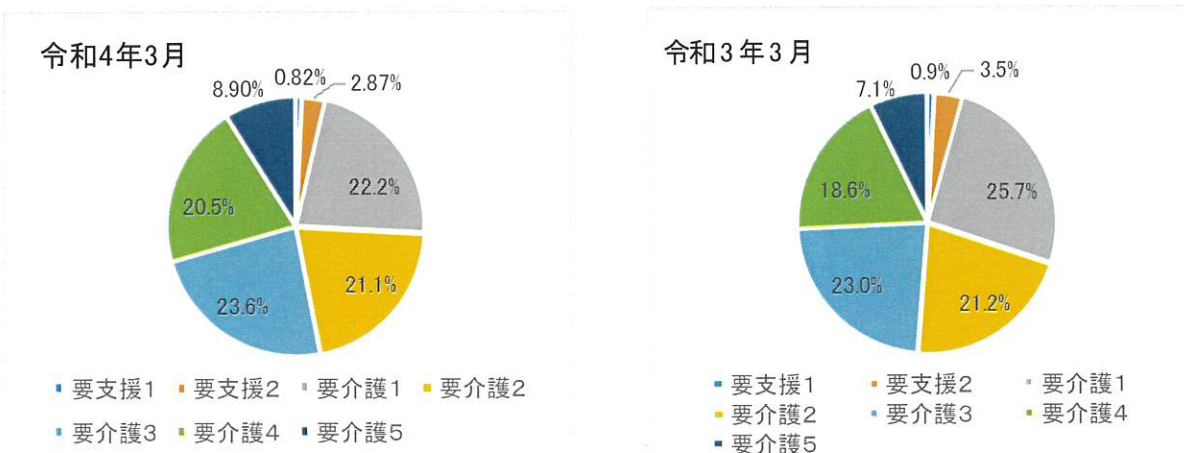
- ①近隣短期入所施設5事業所の運営委員会では年4回の開催を予定し、6月と9月に主にコロナ関連についての情報交換を行った。しかし、その後のコロナウイルス感染症の流行により、年度内2回の開催となった。ただ、個別に電話での情報交換などを行い連携を図っており、次年度も継続する。
- ②永和小学校（4年生）に2月14日（火）訪問し、高齢者や認知症についての勉強会を実施した。寸劇やクイズ形式を取り入れ、分かりやすく説明した。生徒達からの積極的な質問もあり、高齢者の気持ちや対応を考える一つのきっかけになったのではと思われる。
- ③令和4年度もコロナ禍で神指文化祭など地域行事は中止となり、地域へ出る機会はなかった。
- ④近隣施設に防災訓練の電話通報協力を依頼実施した。次年度は更に進めて、災害訓練も検討する。

4 月別利用人数及び介護度

※（ ）内は利用者数

月	日数	利用延数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	30	1,125 (107)	3 (1)	21 (3)	243 (26)	182 (19)	342 (30)	263 (21)	71 (7)
5	31	1,232 (105)	0 (0)	18 (4)	245 (27)	226 (22)	360 (25)	309 (20)	74 (7)
6	30	1,184 (113)	0 (0)	23 (4)	229 (25)	214 (23)	351 (28)	272 (24)	95 (9)
7	31	1,149 (108)	9 (3)	22 (4)	203 (21)	196 (20)	316 (29)	320 (23)	83 (8)
8	31	1,207 (114)	0 (0)	11 (4)	188 (26)	252 (25)	321 (25)	312 (22)	123 (12)
9	30	1,172 (110)	6 (2)	11 (3)	159 (24)	222 (22)	332 (26)	324 (23)	118 (10)
10	31	1,227 (107)	4 (1)	12 (3)	206 (28)	217 (19)	298 (23)	362 (23)	128 (10)
11	30	1,022 (76)	13 (1)	0 (0)	136 (12)	259 (18)	271 (18)	287 (19)	56 (8)
12	31	754 (61)	0 (0)	0 (0)	65 (11)	144 (12)	219 (17)	239 (13)	87 (8)
1	31	1,164 (101)	0 (0)	5 (2)	176 (23)	227 (21)	292 (24)	317 (22)	147 (9)
2	28	1,103 (104)	5 (2)	17 (4)	187 (25)	241 (26)	232 (19)	318 (19)	103 (9)
3	31	1,137 (110)	0 (0)	12 (4)	133 (22)	283 (30)	287 (23)	267 (20)	155 (11)
計	365	13,476 (1216)	40 (10)	152 (35)	2170 (270)	2663 (257)	3621 (287)	3590 (249)	1240 (108)
*一日平均 36.9人			平均要介護度 2.7 (令和3年度 2.6)						

5 利用者要介護度別比較割合



6 新規受入れ件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	5人	6人	10人	7人	15人	11人	9人	7人	5人	12人	12人	13人	112人

※令和3年度は年間138件の新規受け入れ

7 職員配置の状況

令和5年3月31日現在(人)

職種	管理者	生活相談員	介護員	看護員	機能訓練	事務	運転手	合計	[ ] 兼務 ( ) パート
人数	[1]	2 [1]	14 [2] (5)	3	1	1	[1]	23 (5)	

8 月別行事実施状況

月	行事	月	行事	月	行事	月	行事
4	お花見	7	七夕会	10	—	1	お正月行事/団子刺し
5	母の日	8	夏祭り	11	新そば祭り	2	節分
6	父の日	9	敬老の日	12	—	3	ひな祭り

〇コロナ禍の為昨年から、行事は縮小か個別で行う工夫をしながら、密を避け換気や消毒、マスク着用を徹底し実施した。

9 事故種別と件数

(件)

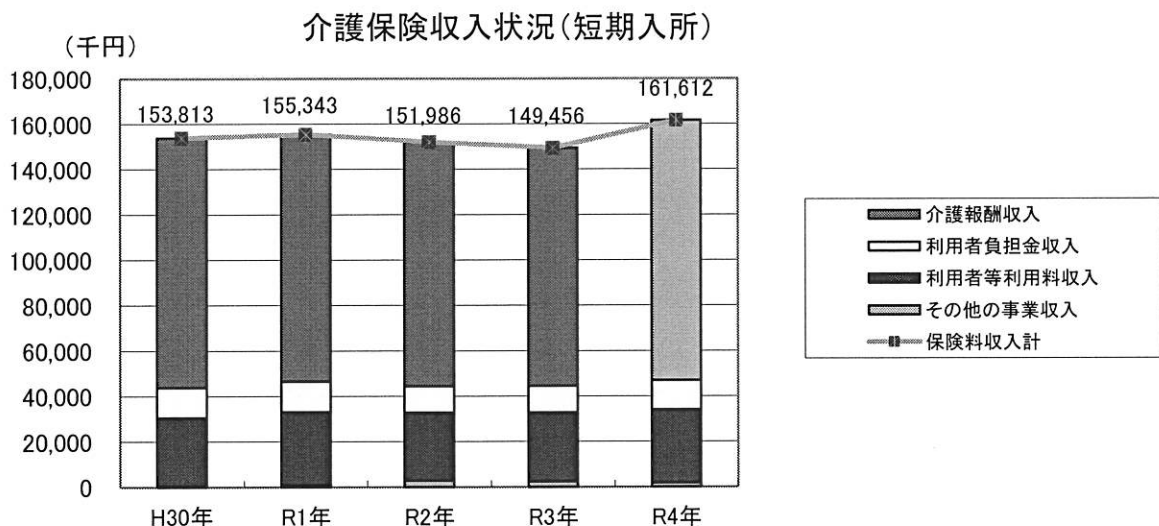
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・転落	2	3	0	1	1	3	1	4	2	3	3	3	26
骨折	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
尻もち	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
発赤	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚剥離	1	0	0	4	0	0	2	0	1	1	1	2	12
裂傷	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
誤薬	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7
誤嚥	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3
内出血斑	1	1	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	6
異食	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
エスケープ	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	4
合計	5	5	0	7	5	11	5	5	5	6	5	9	68
ヒヤリハット	1	3	3	5	0	4	4	17	3	3	5	5	53

<その他>他者を叩く、皮膚のただれなど

<ヒヤリハット>薬が落ちていた、誤嚥しそうになる、転倒しそうになる、ベッド上に立っていたなど

※9月の誤薬7件については、夕食後薬を投薬していないと職員が思い込み、7人に本人の薬を再投薬し2重に内服させてしまった事故。

10 短期入所生活介護事業状況

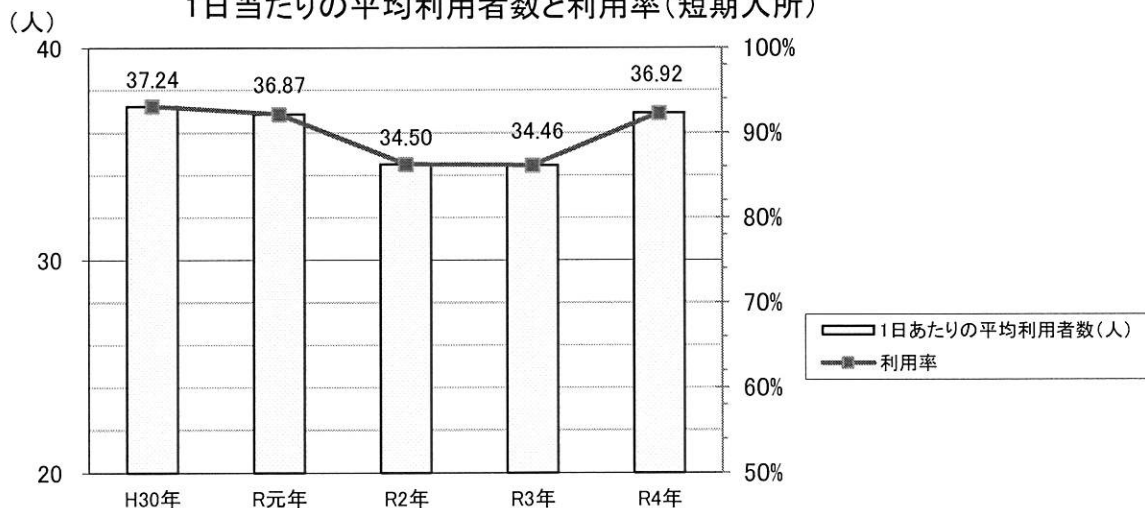


介護報酬の推移(短期)

(円)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
介護報酬収入	110,049,301	108,775,562	107,636,928	104,866,218	114,546,403
利用者負担金収入	13,296,229	13,510,288	11,550,381	11,795,869	12,975,980
利用者等利用料収入	30,081,197	32,392,403	30,099,405	30,475,204	32,261,304
その他の事業収入	386,335	664,628	2,699,770	2,318,466	1,828,357
保険料収入計	153,813,062	155,342,881	151,986,484	149,455,757	161,612,044

1日当たりの平均利用者数と利用率(短期入所)



利用者数と利用率の推移

定員40名

	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
年間利用延べ日数(日)	13,596	13,495	12,606	12,579	13,476
1日当たりの平均利用者数(人)	37.24	36.87	34.50	34.46	36.92
利用率	93.12%	92.18%	86.25%	86.16%	92.30%

11 職員外部研修受講状況

日時	研修名称	会場	参加人数
R4.5.18	介護施設等における防災リーダー養成Web研修会	オンライン研修	1名
R4.5.20	福祉の職場におけるメンタルヘルス研修	オンライン研修	1名
R4.6.27	新人向けOJT(プリセプター)先進事例研修	オンライン研修	1名
R4.6.29	キャラバン・メイト・プラス研修	オンライン研修	1名
R4.6.30～7.2	喀痰吸引等基本研修	福島県男女共生センター	1名
R4.7.6～8			
R4.7.13～14			
R4.7.26			
R4.8.24～25			
R4.7.12	苦情受付担当者研修	郡山ユラックス熱海	1名
R4.7.14	SARAYA 基本を学ぶWeb講座	オンライン研修	1名
R4.7.27～29	認知症介護実践リーダー研修 講義・演習(前期・後期)	オンライン研修	1名
R4.8.16～18			
R4.10.7	認知症介護実践リーダー研修 報告会	オンライン研修	1名
R4.8.10	社会福祉法人事務長等研修	オンライン研修	1名
R4.8.24～25	喀痰吸引等基本研修(実技試験)	福島県男女共生センター	1名
R4.10.5	ピンポイント介護技術研修(移乗・移動介助編)	福島県男女共生センター	1名
R4.10.19	障害特性について学ぶ ～統合失調症の方をどのように支援するか～	オンライン研修	3名
R4.10.21	認知症介護基礎研修	郡山ユラックス熱海	1名
R4.11.8～9	キャリアパス制度課題別研修第1回 ～OJTチェックリストの作成、整備～	オンライン研修	1名
R5.1.16	会津若松市サービスの質の向上講演会	オンライン研修	4名
R5.1.18～19	管理職員のためのプリセプター運用研修～仕事の仕方を決め急所を明らかにするマニュアル作り	オンライン研修	1名
R5.2.15～3.15	会津地域リハビリテーション実務者向け研修	動画配信	1名
		合計	23名

12 職員内部研修受講状況

日時	研修名称	会場	参加人数
R4.4.11～5.6	感染症(新型コロナウイルス感染症)の基礎知識とマニュアルについて	短期(会議室)	21名
R4.4.9～28	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の動画研修	短期(会議室)	15名
R4.4.18～22	契約書・重要事項説明書について	短期(会議室)	20名
R4.5.9～23	事故発生・緊急時の対応(AED使用)	短期(会議室)	19名
R6.6.16～27	個人情報保護・倫理・法令順守	合同(リモート)	18名
R4.6.21～24	吐物処理(実技)	短期(さくら棟)	15名
R4.7.10～29	褥瘡予防、排泄について	短期(さくら棟)	17名
R4.8.8～9.9	褥瘡予防、事例検討	短期(会議室)	15名
R4.9.20～23	吐物処理(実技)	短期(さくら棟)	14名
R4.9.26～30	身体拘束廃止指針と高齢者虐待防止に関する指針	短期(会議室)	13名
R4.10.3～11.2	感染予防(インフルエンザ・ノロウイルスなど)	短期(会議室)	22名
R4.12.20～28	食中毒について	合同(リモート)	4名
R4.1.4～5	吐物処理(実技)	短期(さくら棟)	10名
R5.1.23～2.16	介護力向上(認知症)	合同(リモート)	12名
R5.2.13～21	リスクマネジメント(事故の発生と再発予防)	短期(会議室)	13名
R5.2.6～22	身体拘束廃止・高齢者虐待防止	短期(会議室)	16名
R5.3.2～23	吐物処理(実技)	短期(さくら棟)	11名
R5.3.6～17	腰痛予防	合同(リモート)	13名
		合計	268名



## [5] 居宅介護支援事業所会津みどりホーム

### 1 運営経過及び総括

新型コロナウイルス感染症予防の影響で利用休止や、加えて心身状態の悪化による入院者が増えたことで目標を達成することはできなかった。しかし、下半期に新規獲得数の増加、1月に入職者1名が加わり、7名での受け入れ体制が整ったことで、目標に近づける事が出来た。主任介護支援専門員3名にて、福島県介護支援専門員法定研修に携わり、キャリアアップやケアマネジメントの資質向上に努めることができた。また、会津地域の居宅介護支援事業所とオンラインで繋がり、研修会や事例検討会へ参加することで情報共有や自己研鑽に努めることができた。

令和4年度： 目標件数 2,340件(195件/月) 実績2,252件(187.7件/月)稼働率96.2%

### 2 事業計画の実施状況

重点目標	事業計画(取り組むべき施策)	実施状況(評価)
1. 個人の尊厳の保持と自立支援に資する適正なサービス提供	①一人ひとりの生活に対する価値観を大切に、自己決定や自己選択を支援し出来る限り利用者が自ら選択した場所で望む生活ができるように支援をしていきます。	・利用者や家族の意向を尊重し住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、サービス計画を作成し利用者に寄り添った支援を行った。 ・感染予防の為、訪問出来ない状況も多かったが、感染対策を講じた訪問、サービス事業所と連携を図りながら、利用者の心身状態の変化を早期に把握でき、多様なニーズに対応することができた。
	②介護保険サービス及び、地域の社会資源を活用しながら、心豊かな生活が実現できるように支援を行います。	・個々の状況を把握し、必要な介護保険サービス及び、インフォーマルな資源の情報提供を行い、活用に繋げる支援を行った。
2. 医療と介護の連携推進	①困難事例や独居・認知症の利用者等の支援を地域包括支援センターと共に行い、地域ケア会議や他事業所と連携を図り、情報を共有し問題解決に努めていきます。	・困難事例等は、地域包括支援センター、サービス事業所、行政機関や地域関係者(民生委員や共生相談員等)とも連携を図り安心して生活できるよう支援した。又、随時相談・アドバイスを受け問題解決に努めた。
	②入退院時には病院等への情報提供や情報収集を行い、円滑に在宅生活に復帰できるように支援していきます。	・コロナウイルス感染症の影響で制限はあったものの、病院で対面での情報共有の場が徐々に持てた。又、電話連絡等で各担当者との情報交換を密に行い、必要なサービスを調整し、退院後の在宅生活を継続できるように支援を行った。
3. 介護支援専門員としての知識と資質の向上	①利用者の生活状況を総合的に把握し、多様なニーズに応じたサービスをコーディネートできるよう、ICTを活用した研修会等へ積極的に参加し知識、技術の向上に努め、情報の共有化を図ります。	・障害福祉サービスや権利擁護等研修に、Zoomにて積極的に参加し、利用者を取り巻く課題に対応できるよう、知識・技術の向上に努め、情報の共有化を図る事が出来た。
	②介護支援専門員相互の支え合う体制作りを整え、ケースについて一人で悩み抱えることなく事業所全体で問題の解決方法を導いていくように努めていきます。	・週1回事業所内でのケース検討会、年2回包括とのケース検討会、虐待研修を開催。多職種からの意見、助言の場が持てた。相談し易い環境体制にあり、問題解決に向けて働きかける事が出来た。会津地域の居宅間で開催のオンライン研修へ参加し、情報を共有し、介護支援専門員の資質向上へと繋がった。
4. 利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制の構築	①感染症が発生した場合は事業継続計画(BCP)に基づき実施し、定期的な見直しを行います。	・感染症発生するも、事業継続計画(BCP)に基づき実施し、事業所内での拡大を防ぐ事が出来た。
	②災害が発生した場合の業務継続計画(BCP)を策定します。	・業務継続計画(BCP)の策定に向けて研修へ参加、又、個別避難計画作成業務受託についても研修参加し、地域防災への理解を深めた。
	③研修及び訓練については、適宜実施し法人内他事業所と共に行います。	・感染対策に係る研修会へ参加し感染症に対する理解を深めた。

3 職員配置の状況

管理者・主任介護支援専門員	専任	1名
主任介護支援専門員	専任	2名
介護支援専門員	専任	4名

4 ケアプラン作成件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2年	186	183	189	190	186	192	187	187	186	182	176	177	2,221
R3年	176	176	181	180	177	181	182	178	176	165	167	166	2,105
R4年	166	168	171	175	180	188	195	194	188	199	208	220	2,252

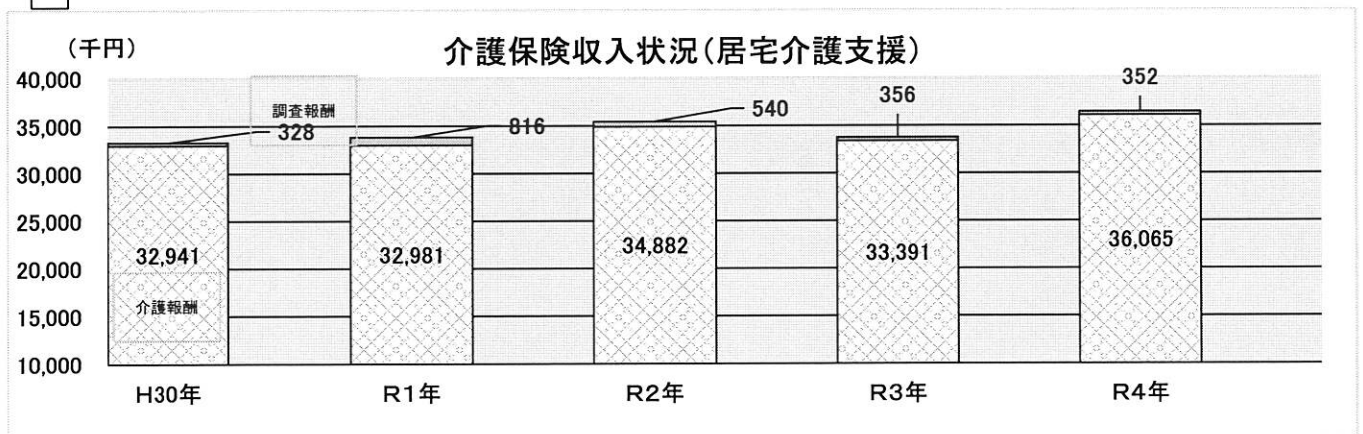
5 訪問調査件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2年	16	7	11	10	12	10	14	13	12	9	20	13	147
R3年	20	2	3	8	6	13	8	7	8	11	6	5	97
R4年	7	12	12	10	7	9	10	5	0	6	6	15	99

訪問調査受託については、新型コロナウイルス感染症予防により、前年同様に認定調査を受けずに一年の期間延長の希望が多かったものと思われる。

6 事業実績の収入状況



(円)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	前年度対比
介護報酬収入	32,941,050	32,981,010	34,882,020	33,390,790	36,064,600	108%
調査受託料収入	327,888	816,330	540,010	356,110	352,110	99%

7 年間利用者数延べ人数と職員一人あたりの利用者数推移(3月31日時点)

(人)

	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年
利用のべ人数	2,081 (GH1含)	2,103	2,221	2,105	2,173
職員1人当たりの利用者数(月)	31	29	31	31	26
介護支援専門員	6	6	6	5	7

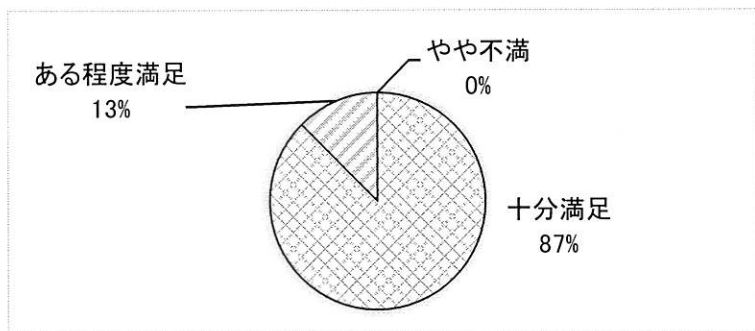
8 利用者の要介護度別利用者数の推移 (3月調べ)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和2年	78人	51人	19人	22人	7人	177人
令和3年	65人	52人	21人	23人	5人	166人
令和4年	77人	67人	29人	32人	11人	216人

9 居宅介護支援サービス利用者満足度調査

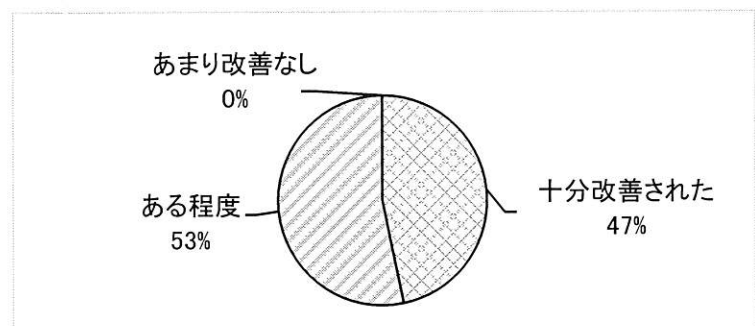
R4年7月調査・利用者数174名中76名に実施・有効回答65名(回収率85.5%)

・ケアマネージャーの態度や言葉遣いなどに満足していますか？



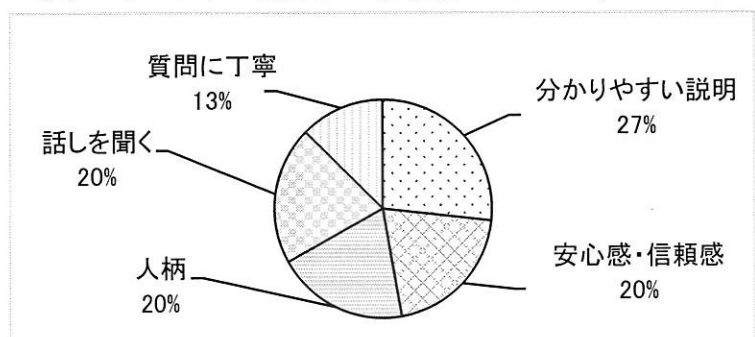
項目	回答数	%
十分満足	56人	71.79%
ある程度満足	8人	10.26%
やや不満	0人	0.00%

・介護保険サービスを利用してあなたの心身の状態や生活環境などは改善されましたか？



項目	回答数	%
十分改善された	29人	37.18%
ある程度改善された	33人	42.31%
あまり改善なし	0人	0.00%

・ケアマネージャーを選ぶ上で重要なことは？(3つまで)



項目	回答数	%
分かりやすい説明	34人	21.38%
安心感・信頼感	26人	16.35%
人柄が良い	26人	15.72%
話しを聞く	25人	16.35%
質問に丁寧な説明	16人	10.06%

## [6] あいづ南花畑デイサービスセンター

### 1 運営経過及び総括

利用者、家族のニーズに応じたサービスの提供と生活状況、心身状況を観察し関係機関と連携を密に、一人ひとりに適した支援を行ってきた。また、日常生活の楽しみを増やすため、季節感を感じていただける行事や楽しめるレクリエーション活動、制作活動の工夫を行ってきた。新型コロナウイルス感染症の発生により10月に1日休業する事となり、利用者増に向け対策を講じてきたが、年間延べ人数 7,874 人、前年度より延べ 1,544 人増となるが目標達成できなかった。

1日の利用者平均 30.52人 稼働率 85.55% (目標 93%) 定員：令和4年4月～11月 36名

令和4年12月～令和5年3月 35名

### 2 事業計画の実施状況

重点目標	実施状況（評価）
[1] ご利用者・ご家族が安心して利用できる信頼関係の構築と生きがいと安らぎのある社会参加の場の提供	①利用者のその都度発見した心身状態や生活課題、対応を関係機関に細やかに連絡調整すると共に家族の訴えに傾聴、相談に応じ身体的精神的の軽減に努めてきた。 ②外出行事は感染予防を考え自粛したが、利用者が楽しめるための季節行事やレクリエーション活動の工夫、制作活動等の充実を図った。 ③事故発生時は原因分析、今後の対応について職員で共有し再発防止に取り組んだ。また、コロナウイルス感染症の発生がみられたが、感染対策の見直しや対策を周知徹底し安全対策に努めた。
[2] 自立支援・重度化防止に向けた個別ケアの提供と理学療法士による個別機能訓練の強化	①心身機能の維持向上並びに個々の在宅環境に応じた訓練を実施し、利用者が自立した生活が送れるよう実施した。 ②自立した日常生活が送れるよう家族、関係機関と連携し、個々に合わせたケアを実施した。 ③オンラインでの研修参加や理学療法士による勉強会を実施し資質向上に努めた。 ④一時的な体調不良や歯のトラブル、咀嚼能力等日々の体調変化に応じ利用者に合わせた食事形態の提供と誤嚥を防ぐための食前の体操、食後のうがいを実施し嚥下機能低下を図った。
[3] 地域ニーズに即した事業の推進と安定的な利用者確保に努める	①家族、関係機関に体調や利用状況の報告を行い情報共有を図ると共にニーズに応じた柔軟なサービスの提供を実施した。 ②コロナ禍で地域との交流等は感染対策から実施なし。 ③毎月、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に広報誌等によるデイを利用しての変化等の利用者の声や保険外対応の掲載や空き情報の発信をすると共に、休む原因や要因を検討し対策を実施してきた。

3 月別利用人数及び介護度

※ ( ) 内は利用者数

月	日数	利用延数	要支援1・事	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	21	673 (105)	111 (31)	124 (18)	211 (28)	83 (12)	97 (10)	42 (5)	5 (1)
5	22	658 (100)	119 (30)	133 (18)	178 (25)	92 (11)	73 (8)	59 (7)	4 (1)
6	22	667 (98)	119 (28)	119 (17)	188 (24)	96 (11)	73 (8)	68 (8)	4 (1)
7	21	650 (100)	129 (33)	120 (19)	176 (23)	84 (11)	69 (8)	68 (7)	4 (1)
8	23	689 (101)	131 (33)	137 (19)	174 (22)	85 (10)	78 (8)	81 (8)	3 (1)
9	22	713 (108)	128 (32)	132 (19)	191 (25)	86 (10)	70 (8)	88 (9)	18 (4)
10	21	671 (80)	123 (32)	127 (19)	177 (25)	83 (10)	61 (8)	75 (9)	25 (4)
11	22	634 (107)	126 (33)	116 (21)	187 (26)	67 (9)	48 (6)	64 (8)	26 (4)
12	21	617 (99)	120 (32)	139 (19)	156 (22)	66 (8)	37 (4)	67 (10)	32 (4)
1	20	554 (98)	115 (35)	121 (18)	161 (22)	51 (8)	36 (4)	47 (7)	23 (4)
2	20	620 (107)	122 (33)	127 (22)	189 (27)	61 (9)	40 (4)	53 (7)	28 (4)
3	23	728 (104)	126 (30)	154 (22)	227 (27)	94 (10)	29 (4)	67 (7)	31 (4)
計	258	※ 7, 874	1469 (18%)	1549 (20%)	2215 (28%)	948 (12%)	711 (9%)	779 (10%)	203 (3%)
			一日平均 30.52	(前年 24.54)	平均要介護 1.46		(前年 1.3)		

4 月別行事実施状況

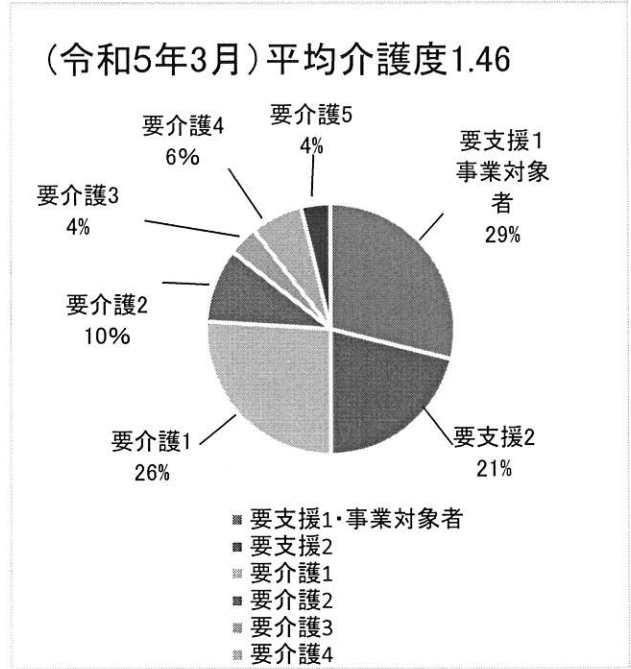
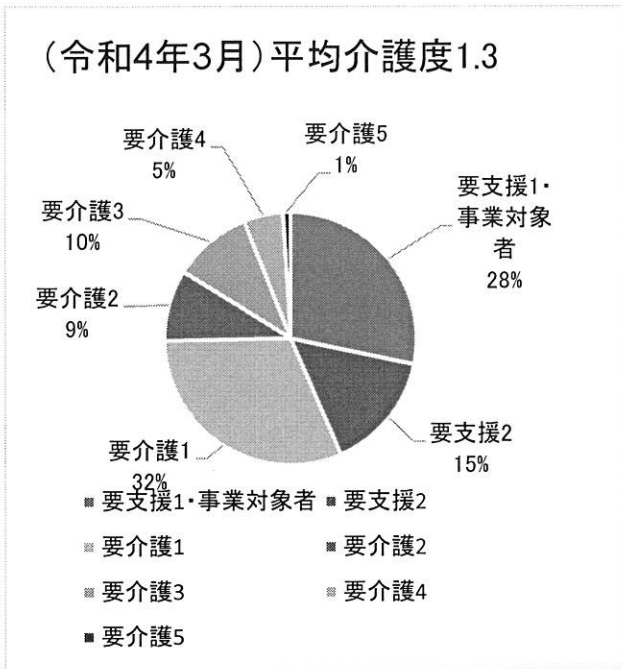
月	行事	レク活動	月	行事	レク活動
4	開所式	○花を咲かせましょう ○テレビの泉 ○ビー玉のおひっこし	10	運動会	○ブドウ狩りヘゴゴ ○カウボーイ足し算 ○ポッチャ
5	母の日	○紙コップリレー ○ペットボトルホッケー ○お好み焼きゲーム	11	新そば祭り	○ポッキー飛ばし ○ビンゴゲーム ○紙皿ぐらぐら
6	父の日	○逃げろぬいぐるみ ○シュートゲーム ○魚釣り	12	クリスマス会	○サンタさんのお手伝い ○コロりんゲーム ○映画鑑賞
7	七夕会	○七夕会 ○けん玉 ○ヤクルト積み	1	初釜・書初め 団子さし	○福笑い ○すごろく ○おみくじゲーム
8	夏祭り大会 手作りおやつ (かき氷)	○ビー玉流し ○金魚すくい ○巻き上げゲーム	2	節分 (豆まき)	○鬼退治ゲーム ○もぐらたたき ○ハートを届けろ
9	敬老会	○サッカーボウリング ○お月見ゲーム ○言葉作り	3	ひな祭り	○吊るし雛作り ○豆すくい ○梅の花を咲かせましょう

5 職員配置の状況

(人)

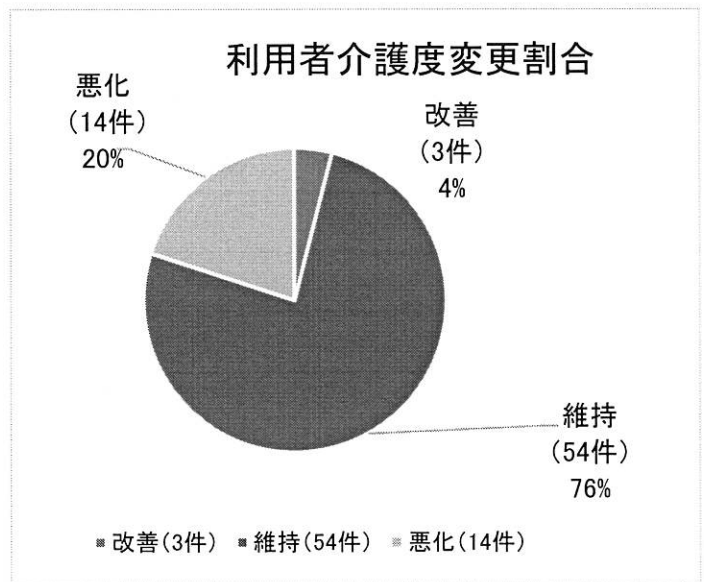
職種	管理者	生活相談員	介護職	看護職	機能訓練	合計	( ) 兼務
人数	(1)	3 (3)	9 (5)	3 (3)	2 (2)	9人	

6 利用者要介護度別比較割合



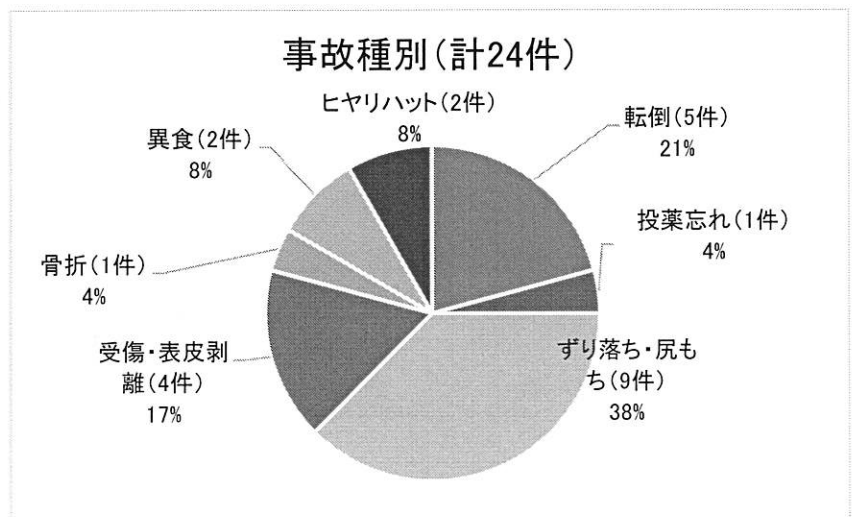
7 利用者要介護度変更状況(71件)

要介護度変更率			
年度	R2年度	R3年度	R4年度
維持率	85%	84%	76%
改善率	3%	0%	4%
悪化率	12%	16%	20%



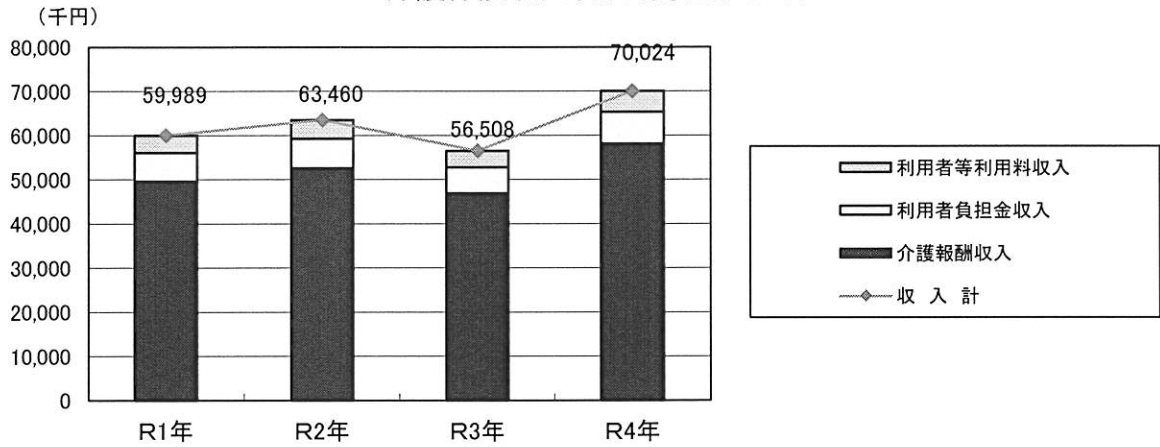
8 事故種別

事故種別	件数
転倒	5
投薬忘れ	1
ずり落ち・尻もち	9
受傷・表皮剥離	4
骨折	1
異食	2
事故報告件数計	22
ヒヤリハット	2



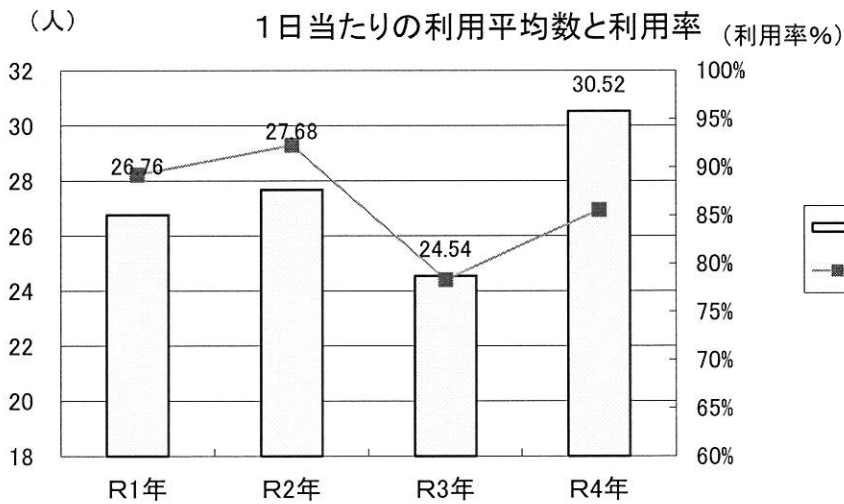
9 事業実績の状況

介護保険収入状況(南花畑デイ)



(指定通所介護事業所) (円)

	R1年	R2年	R3年	R4年
介護報酬収入	49,593,331	52,596,025	46,916,717	58,076,990
利用者負担金収入	6,432,946	6,635,647	5,863,132	7,235,899
利用者等利用料収入	3,962,900	4,228,800	3,727,800	4,711,200
収入計	59,989,177	63,460,472	56,507,649	70,024,089



(指定通所介護事業所) 定員30人 定員30人 12/1~33人 36人  
2/17~36人 12/1~35人

	R1年	R2年	R3年	R4年
利用延べ利用者数(人)	6,877	7,141	6,331	7,874
1日あたりの利用者数(人)	26.76	27.68	24.54	30.52
利用率	89.20%	92.26%	78.30%	85.55%
稼働日数(日)	257	258	258	258

## [7] あいづ博愛こども園事業報告

### 1 事業経過及び総括

令和4年度より、幼保連携型認定こども園に移行。保育所開所当時の“ひろい ひろい 愛”の理念で長年の保育所としての経験や思いを引き継ぎ、子ども・保護者・地域のニーズに寄り添いながら教育・保育の環境を整えてきた。核家族化が進み、子育てに不安を抱く親への支援や支援を必要とする子どもへの対応など、関係機関や専門機関と連携を図り、保護者のサポートに努めた。

働きやすい環境の中で、「子どもの最善の利益」を追求する姿勢を共有しながら、職員の育成に努めてきた。また、地域とのつながりを大切にし、子育て支援事業に取り組んだ。

### 2 重点目標の実施状況

#### 1. 安心・安全な保育環境を整え、働きやすい環境作りに努めます。

- ・コロナウイルス感染症対策の継続し、保護者との情報共有を大切にした。
- ・こどもの育ちを見据え、主体性を大切し環境づくりに取り組んだ。
- ・職員の多様な働き方ができる環境を整えた。

#### 2. 質の高い教育・保育の充実を図るため、職員の学びを深めます。

- ・オンライン研修受講の環境を整えることで、短時間勤務職員も研修の受講ができ、人間性・社会性・専門性を高めた。
- ・園内研修では、外部講師を招き、勉強会を行い教育・保育の資質向上に努めた。

#### 3. 子育て支援センターの事業の充実を図り、園の特徴を活かした地域貢献を行います。

- ・新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、人数制限をしながら開所や閉所の対応をした。
- ・専門の講師（歯科衛生士）を招いたり、季節の行事等を楽しむ内容でできることを考えて行った。

#### 4. 施設の補修・修繕と財政基盤の安定を図ります。

- ・県から指摘のあった園舎とホールとの渡り廊下の改修を行い、安全かつ明るくなった。
- ・認定こども園に移行したことで、職員配置が厚くなり、0歳児の入所17名を受け入れ、財政基盤の安定につなげることができた。

### 3 健康管理

感染症の情報を共有できるよう保護者へ発信し、感染症の予防と拡大防止に努めた。

- ① 新型コロナウイルス感染症の正しい情報や行政からの指導を保護者へICTの一斉メールを活用し配信、共有した。11月園児の家庭内感染からクラス閉鎖や職員感染などがみられた。
- ② アレルギー児については、マニュアルを通して全職員が把握し、それぞれに応じた対応を行うことにより情報の共有化ができた。

○内科健診、歯科検診を年2回実施。尿検査(全園児)実施

虫歯予防、歯磨き、食べ物や飲物について保護者に働きかけ取り組んできた。歯科検診後は、虫歯の治療もすすんだ。

4.5歳児対象に「フッ化物洗口」に取り組み、虫歯予防に努めた(週5回)。取り組むことに



より、歯科医師から口の中がきれいになっていると効果がみられているとの話あり。

(コロナ禍で取り組み中止期間あり)

○感染症による年間延べ欠席一覧

(単位：人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
溶連菌感染症	-	-	1		-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノウイルス	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
手足口病	-	-	-	-	1	14	3	-	-	-	-	-	18
麻疹	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
インフルエンザC	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
インフルエンザA	-	-	-	-	-	-	-	1		-	1	-	2
胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	1	-	8
ノロウイルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	7
RSウイルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
流行性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3
水痘	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
コロナウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	31	2	-	-	-	33

○保育園でのけが

7件(転倒裂傷・転倒歯の損傷、唇の裂傷・脱臼など)

4 栄養管理

楽しい食事を心がけ、一人一人に合わせた食事と栄養管理に努めた。

- ① 園児一人一人の身長・体重に基づき「給与栄養量目標量算定表」を作成し、栄養管理に努めた。
- ② 園児一人一人の「成長曲線表」によるデータに基づいて、身体状況を把握し、指導を要する園児には、助言や対策を行った。また、家庭と連携を図り、保育教諭と話し合いながら、一人ひとりに合わせて進めることができた。
- ③ 食事の展示やレシピの配布などを行い、保護者の理解・関心を深め、アンケートの実施により家庭との連携に役立てた。
- ④ コロナ禍で、食育活動に制限はあったが、日々の給食を通して食に対する関心を深め、基本的な食習慣の改善と食を営む力の基礎を培うことができた。
- ⑤ 食物アレルギー児については、医師の診断に基づいて、保護者との連携を図りながら除去食をすすめることができた。

5 保育に関して

- ① コロナ禍の中で、日々の生活を大切にし、子ども達の発達を職員で共有し、季節の遊びなども工夫して教育・保育に取り組む。
- ② 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った保育計画を作成し、県の担当者の指導を受けた。5月に担当者が来園の際に子どもたちの遊ぶ姿を見て「子どもたちの遊んでいる姿を

見ると、保育がわかります。先生方頑張っていますね。」とお褒めの言葉をいただいた。

- ③ 支援の必要な子どもに関し、関係機関と保護者との連携を図ることができ、療育に繋がったり支援学級への就学に繋げることができた。
- ④ 不適切保育に関し、園内で「保育所・認定こども園における人権擁護のためのセルフチェックリスト」を利用し、自らの保育の見直しを行う。今後も、定期的に行っていく。

## 6 安全管理

子どもたちに命の大切さを教え、子ども自ら安全を学ぶよう取り組む。消防署、警察、子ども保育課、防災関連業者などと連携を密にし、安全管理に努める。

・避難経路、防災準備品の確認（マニュアルの見直し）

年2回交通安全教室を開催し事故防止に努めるとともに、園児自らが安全について学ぶ。家庭には活動等を伝え、保護者の意識向上を図る。

- ① 毎月の避難訓練では、職員の連携はもとより、子どもが理解できる形で“命を守る”教育を行う。（火事・地震・水害・不審者）
- ② 災害時を想定して、保護者への引き渡し訓練を行う。
- ③ 独立行政法人日本スポーツ振興センターの保険、日本保育協会保育園総合保険（日本興亜損害保険）に加入。
- ④ バスの置き去り事件発生に伴う、マニュアル（こどもの所在確認）の見直しを行う。

### 避難訓練内容について

月	内 容	月	内 容
4月	不審者（玄関より）	10月	地震及び火事（震度5・給食室出火想定）
5月	火事（給食室出火想定）	11月	中止（コロナウイルス感染症の為クラス閉鎖）
6月	火事（coop 出火想定）	12月	不審者（玄関より）
7月	地震（震度5 想定）	1月	火事（園北側民家②出火想定）
8月	火事（園北側民家出火想定）	2月	地震（震度4 想定）
9月	水害（阿賀川氾濫想定）	3月	地震（東日本大震災黙とう）

## 7 衛生管理

健やかな心身の発達のために、環境設備を整え、衛生管理に努めた。

- ① コロナウイルス感染症対策として毎日の玩具等の消毒を徹底し衛生的な保育環境作りに努めた。食事の際は飛沫パネルを使用し、黙食を基本とした。楽しい食事とはいかないが、人数制限したことにより食事のマナーや食べる量など一人一人、丁寧に関わることができた。
- ② コップ、タオルなどの共有は避け、手洗いは除菌システム・アルコール消毒。ペーパータオルの使用を行った。
- ③ 集団感染・食中毒を防ぐための知識を、マニュアルにより、職員間で共有化し、対策を徹底するように心がけた。また、給食担当者はノロウイルスなどの保菌検査を定期的に行った。
- ④ 園児の手洗い・アルコール消毒の習慣を身につけ、感染症の二次感染を予防するようにした。

8 職員数状況（行仁こどもクラブ兼務職員 3 名含む）

（単位：人）

常勤職員						非常勤職員							合計
園長	主幹 保育 教諭	副主 幹 保育 教諭	保育 教諭	栄養 士	事務 長	保 育 教諭	保 育 士	保 育 保助	調理 員	清掃 員	嘱託 医	薬剤 師	
1	2	1	16	2	1	2	1	1	1	2	2	1	33

9 入所児童数状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	昨年
0 歳児	8	9	9	10	10	10	10	11	11	14	15	15	132	121
1 歳児	11	11	11	10	10	10	10	10	12	12	12	12	131	124
2 歳児	14	14	14	14	14	14	12	11	11	11	11	11	151	150
3 歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16	181	166
4 歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	144
5 歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	144
合計	74	75	75	75	75	75	73	73	75	78	79	79	907	849

（月平均 76 人）

\* 月初日数で月中途入退所児童は除く

10 特別保育利用状況

ア、延長保育利用状況（延べ人数） 18時～19時に1時間延長保育を実地した。（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	81	62	103	120	123	126	105	80	146	121	131	134	1,332

（月平均 111 人）

イ、一時保育利用状況（延べ人数）

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	19	19	20	19	3	0	0	2	0	0	0	0	82

（月平均 7 人）

ウ、障害児保育事業 中度 1 名（2 歳児）、軽度 2 名（5 歳児）

エ、地域子育て支援拠点事業（センター型）

	種 類	内 容	回数	人 数
①	子育てサークル 「げんきクラブ」 （園内）	・園内外解放 ・絵本貸出 ・おもちゃ作り ・お試し離乳食・癒しのタッチ 製作（季節のもの）	月 2～3 回	延べ人数 大人 537 人 子ども 543 人
②	子育てサークル 「ひよこクラブ」 （園外）	地域に出向いて コロナウイルス感染症の為、休止 （げんきクラブとして園内で開催）		

③	こんにちは赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問事業）	市健康増進課委託 ・生後2カ月前の赤ちゃんを市に代って訪問し、育児に関する不安や悩みを傾聴、子育て情報の提供をする。	月1~3件	21件
④	育児相談	・離乳食の進め方 ・子どもとの接し方 ・発達面について ・家族の問題について ・アレルギーについて	随時	288件
⑤	HP、子育て支援便り発行	・保育情報の提供・活動予定、報告など	各月 随時	

#### 11 保護者会・地域社会との連携状況

- ・市保育所保護者連合会との連携（球技大会・親子わくわくランド）との連携…コロナウイルス感染症の為中止
- ・地域社会の諸団体との連携「子どもまつり」…コロナウイルス感染症の為中止
- ・保育実習、医師会付属会津準看護学生実習、ボランティア・インターンシップ等の受け入れ
- ・会津みどりホーム、園児との世代間交流…コロナウイルス感染症の為中止

#### 12 職員研修等実施状況

研修名	開催地	開催日	参加者
幼稚園等新規採用教員研修	湯川公民館	4/9. 11/11	1名
日保協 保護者支援セミナー	オンライン	6/5	1名
会津支部 保育士部会 コロナ化での砂遊び	オンライン	6/18	2名
会津支部 コミュニケーションの基本	オンライン	6/22	2名
日保協 保育を高める研究集会	オンライン	6/30/. 7/1	1名
市 子育て支援担当者 乳幼児の歯について	オンライン	7/1	1名
日保協 保育をめぐる現状と課題	オンライン	7/13	2名
日保協 方育舎対象セミナー（造形表現）	オンライン	7/27	1名
日保協 事故予防セミナー	オンライン	8/9	1名
会津支部 保育士部会 子どもの姿を保育につなげる	オンライン	8/20	2名
会津保健福祉事務所 子どもの虫歯予防対策研修会	オンライン	8/30	1名
日保協 保育実習指導者セミナー	オンライン	9/2	1名
日保協 栄養士対象セミナー	オンライン	9/6	1名
会津保健福祉事務所 発達障害児支援者スキルアップ	オンライン	9/21. 10/24	1名
市 乳児保育研修会	稽古堂	11/11	1名
日保協 感染症対策セミナー	オンライン	10/12. 26	1名
会津支部 施設長 幼保小架け橋プログラムについて	オンライン	10/18	1名
日保協 保育の質の確保・向上セミナー	オンライン	11/8	1名
日保協 自己評価セミナー	オンライン	11/22	1名
全保協 全国保育研究大会	オンライン	11/24	1名
日保協 アレルギー対応セミナー	オンライン	12/16	1名

日保協	アレルギー対応セミナー	オンライン	12/16	1名
県保協	次世代リーダー研修会	オンライン	R5.1/13	1名
日保協	管理職対象セミナー	オンライン	1/25	1名
市食育ネットワーク	食育とSDGS	オンライン	2/6	1名
県保協	保育実習指導者研修	オンライン	2/27	1名
市	保育士会研修①②③	オンライン	7/9.11/12.R5.2/12	全職員
キャリアアップ研修	保護者支援・子育て支援	オンライン	11/24.12/1	1名
キャリアアップ研修	乳児保育	オンライン	12/3.10.17	2名
キャリアアップ研修	食育・アレルギー対応	オンライン	11/2.9.16	1名
キャリアアップ研修	障害児保育	オンライン	12/8.9	1名
キャリアアップ研修	マネジメント	オンライン	1/16.23.30	2名
キャリアアップ研修	保健衛生・安全対策	オンライン	1/12.19.26	1名

### 13 主な園行事

月	日	曜日	行事	月	日	曜日	行事
4	5	火	入園進級・開園式	12	3	土	生活発表会
5	13	金	遠足ごっこ 3.4.5歳児		21	水	クリスマス会
6	11	土	保育参観・懇談会 3.4.5歳児		22	木	終業式（1号：冬休み～1/9）
7	9	土	懇談会・育児講座 0.1.2歳児	1	10	火	始業式
	15	金	お泊り保育～16日（5歳児）		14	土	そりすべり（5歳児）
	21	木	終業式（1号：夏休み～8/23）		20	金	十日市ごっこ
8	24	水	始業式	3	11	土	卒園式
9	28	水	交通安全教室		14	火	お別れパーティ
10	1	土	運動会		20	月	終業式（1号：春休み～4/4）

※お集まり会・身体測定・避難訓練・食育・・・毎月

※お茶の稽古（年長児）年10回

※キッズサッカー教室（3.4.5歳児）年5回

※英語教室（3.4.5歳児）年27回

### 14 第三者評価・自己評価

・ICTにて保護者満足度調査を行う。（2月実施）保護者への回答を公開した。

職員共有し、今後の教育・保育等に反映する。

・職員満足度調査及び自己評価システムによる年2回の自己評価

## [ 8 ] 放課後児童健全育成事業（行仁こどもクラブ）

会津若松市より受託し、行仁こどもクラブ併設の小学1年生から6年生対象とし、2クラス（1クラス50名：定員100名）の学童保育を行う。利用希望の児童が多く、待機児童が出る。途中での退所や入所の入れ替えも多い。

子どもたちが安心して過ごせる心地よい環境づくりに努め、支援が必要な児童にとっても居心地の良い環境となるよう一人一人への丁寧な関わりを大切にします。家庭・学校と子どもの姿を共有し、児童と保護者の信頼関係を構築してきた。

また、職員の資質向上を目指し、支援員の外部研修に参加しキャリアアップへとつなげた。

小学校や地域との連携を大切に、児童の活動が広げられるよう、教材や遊具の準備を行う。日頃から保護者との情報交換を大切に、こどもクラブへの協力体制へとつなげる。

### 1 利用状況

(人)

1組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	22	26	25	25	24	24	24	24	23	22	26	290
登録児童数	46	47	46	46	47	48	48	49	48	47	47	48	47月平均
延べ出席数	752	595	870	751	642	829	821	727	710	661	709	7756	8,823

(人)

2組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	25	22	26	25	25	24	24	24	24	23	22	26	290
登録児童数	47	49	50	50	50	50	50	49	49	49	49	49	49月平均
延べ出席数	789	658	935	821	658	837	810	748	803	721	782	751	9,313

### 2 健康管理

- 新型コロナウイルス感染症対策として、登所した際にマスクを交換するなど、検温・消毒・手指消毒・換気に加えて行い感染予防に努めた。感染者が出た場合の対応を、行政の指導のもと学校との情報共有し対応に努めた。
- 体調不良の際の利用を控えると共に、仕事が休みの際の協力をお願いし、協力を頂く。

### 3 安全管理

- 定期的に遊具や保育環境の点検を行い、小学校や行政と連携して安全な環境に努めた。
- 避難訓練（年5回）地震・火災・不審者
- 大きな事故やけがはなし。

### 4 職員状況

- 正職1名 臨時職員1名 パート職員6名 計8名

### 5 利用状況

- 1ヵ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途徴収

- 6 保護者連携 ○親の会役員会と意見交換し、次年度に反映させる。  
 会費 2,000 円は、毎日のおやつ、お楽しみ弁当、お誕生ケーキ等の提供  
 ○地域学校協働本部事業「行仁 1455」（放課後こども教室）の実施の協力。  
 （人数の把握・健康観察・検温・体育館への送迎）

7 研修等状況

研 修 名	開催地	開催日	参加者
第 1 回 放課後児童支援員等研修会（市）	会津若松市	令和 4 年 6 月	2 名
第 2 回 放課後児童支援員等研修会（市）	会津若松市	令和 4 年 11 月	2 名
児童館等施設及び児童厚生員研修会	磐梯町	令和 4 年 11 月	1 名
第 3 回 放課後児童支援員等研修会（市）	会津若松市	令和 4 年 12 月	1 名
県 放課後児童認定資格研修	オンライン	令和 4 年 12 月	1 名
県 放課後児童員認定資格研修	オンライン	令和 5 年 1 月	1 名
県 放課後児童員向上研修	郡山市	令和 5 年 1 月	2 名

8 行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	15	金	新入生歓迎会	11	5	土	親子味噌づくり（親の会）
7	7	木	七夕会	12	10	土	ボーリング大会（親の会）
	27	水	神社に行こう（八角神社）		23	木	クリスマス会
8	2	火	世代間交流	1	12	水	だんごさし
	5	金	水遊び	2	3	金	豆まき
10	31	水	ハロウィンパレード	3	23	木	1年間ありがとうの集い

※毎月 誕生会

## [9] すくすく園事業報告

### 1 運営経過及び総括

コロナ感染拡大防止のため、4月・5月・7月・12月に数日間のクラス閉鎖の対応をする。感染力が強いので、職員へは体調確認や抗原検査キットの使用を促した。行事はできるだけ保護者参加ができるよう年間通して日程や内容の変更をしながら対応してきたが、生活発表会は延期も難しいことから中止せざるを得なかった。今後も行政からの基本的な感染対策指針等をもとに感染対策を行い保育環境を守っていく。

保護者への緊急連絡はメールを活用しているが、既読が付かないと伝わっているかが分からず、ICT化の取組みで便利になった部分はあるが、保護者によっては柔軟な対応が必要な場合もあった。今後、園内業務では独自に使いやすい保育計画の様式へと見直したり、園内メールの活用等、園の体制に合ったICT化を検討・実施していくことが大切である。

施設内の修繕は優先順位をつけ1階の床張替えを行う。耐久性と衛生を保ちやすくなり、園舎内の雰囲気も明るくなった。空調設備の老朽化も進んでいるため、業者へ清掃を依頼し修繕等を行い対応したが、数年のうちに設備の取替え検討が必要である。

園庭環境については、積木のように「見立て遊び」が楽しめる丸太や板・コンテナ・バスマット等の遊具充実を図り、木製遊具のメンテナンスには保護者のご協力をいただくことができた。また、園庭環境の変化により子どもたちの遊びが主体的に変化していく姿を、様々な行事や保育参加で見て体験していただくことができた。尚、会津地区の当番施設となっていた保育研究大会では、これらの取組みを発表することにする。日々の保育記録をもとに考察・実践をくり返し園内研修で保育の共通理解を図った。保育を振り返り保育の質向上を意識することができた貴重な経験を、今後の豊かな保育環境づくりに繋げていくことが大切である。

運営・財政面では、運営費収入が増加したことで予定額以上の施設整備積立金を確保することができた。今後も安定した運営のため、選ばれる園であるための取組みが重要となる。

### 2 重点事業

#### 1. 保育・教育内容を共通理解し、保護者と協力体制づくり

- ・ 園内研修を活用し子どもの育ちを理解と保育士の関わりや働きかけを見直し、保育の共通理解をすすめた。
- ・ 保護者に園庭環境づくり(古タイヤの寄付・木製遊具メンテナンス等)や親子行事(遠足ごっこ・保育参加・運動会等)への参加協力を促し、子どもと共に遊ぶ体験を通して保育への関心を高める機会づくりを行う。その都度、可視化できる発信も継続できた。

#### 2. 安全と衛生面に配慮した、心地よい環境づくり

- ・ 昨年3月末に補助金活用し設置した園庭木製遊具(クライム遊具)を今年度より使用する。安全面を考慮した設計のため、見守りの中で1歳児～年長児までが体を動かし、くつろげる場所となる。
- ・ 室内では、玄関奥の小さな絵本コーナーを衛生的で絵本を手にしやすい明るい空間にしたことで、送迎時に親子で絵本を見る姿が増え、絵本の貸出冊数も増加した。
- ・ 幼児クラス前の廊下で使用していた牛乳パック椅子を撤去し、補助金を活用し木製ベンチを設置する。着替えたり絵本の読み聞かせスペースとしての心地よい空間となった。

#### 3. 子育てセンターやすくすく園の特色を生かした地域支援

- ・ 感染状況を把握し、子育て支援室を開ける際は1日1組～2組の完全予約制で対応する。
- ・ ホームページの予約機能を利用し申込み方がほとんどであり、24時間対応の予約システムの



使いやすさが伺える。

- ・ 閉鎖期間であっても利用保護者にカードや制作キットを送る等、気持ちの繋がりを大切にした対応をする。

#### 4. 既存施設の補修・修繕と財政基盤の安定

- ・ 1階保育室と玄関・廊下部分の床張替えを行う。階段から2階部分等の張替えは次年度に予定している。
- ・ 運営費収入も増加したことから、施設整備積立金を予算額以上確保することができた。

### 3 保育内容

- ① 園内研修を通し0歳児から就学前までの育ちを理解し、繋がりのある保育を意識しながら保育をすすめることができた。
- ② コロナ禍の対応緩和に応じて、少しずつ保育内容(生活・遊び・行事)の見直しを行うが、今後も職員間での検討が必要である。
- ③ コロナ禍でも保護者参加の機会を増やし、保護者間の交流や保育を理解していただく取り組みを実施することができた。今後は地域との交流の機会を検討をすすめる必要がある。

### 4 健康管理

感染症の正しい情報を共有・発信し、予防と拡大防止に努めた。

- ① 保護者への注意喚起の情報をメールや掲示物を活用した。行政に確認し新型コロナウイルス感染症拡大防止のためクラス閉鎖の対応を行う。
- ② 毎日のフッ化物洗口(4.5歳児)、内科健診と歯科検診を年2回、寄生虫検査と尿検査を実施する。次年度は書面監査の文書指摘により年2回の尿検査を実施する。

月別主な感染症状況

(人)

感 染 症 名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R3
新型コロナウイルス	9	14	-	-	19	7	1	2	8	2	-	-	62	3
溶連菌感染症	-	-	-	1	-	2	-	-	1	-	1	-	5	3
アデノウイルス感染症	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	5	5
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	9	25
ヘルパンギーナ	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0
ヒトメタニューモ	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	0
突発性発疹	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	4	5
手足口病	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	0

### 5 栄養管理

コロナ禍の食事環境でも食に関心が持てるよう、安全でおいしい給食の提供に努めた。

- ① 野菜を育て収穫し食するという経験を通して食への関心を高め「楽しく食べる」ことを大切に開く。コロナ禍での食事マナーも身につけ、給食を楽しみにする姿がある。
- ② クラス閉鎖等により発注食材の変更等やお弁当対応も増えたが、年間の栄養摂取基準量は摂取できていた。

### 6 安全管理

震災時に備え備品の確認と危機管理マニュアルを周知し、安全な環境づくりに努めた。

- ① 年1回の備品等の点検を実施し保存食の補充と入替えを行う。保管場所を確認し把握することで全職員の防災意識を高めた。
- ② 交通安全教室(春・秋)と避難訓練を様々な想定のもと実施した。園児引き渡し訓練等も実施する。

月	内容	月	内容
4月	コロナによるクラス閉鎖により中止	10月	総合避難訓練・通報訓練・消火訓練
5月	地震・火災・通報訓練・消火訓練	11月	火災・通報訓練・消火訓練
6月	地震・通報訓練・消火訓練	12月	職員病欠及びクラス閉鎖により中止
7月	地震・火災・通報訓練・消火訓練	1月	地震・通報訓練・消火訓練(2回) 12月の未実施分を行う
8月	地震・通報訓練・消火訓練		
9月	風水害・通報訓練・消火訓練 不審者訓練・園児引渡し訓練	2月	職員病欠による不足のため中止
		3月	地震・通報訓練・消火訓練・不審者訓練

### 7 衛生管理

清潔で衛生管理の行き届いた保育環境・給食環境に努めた。

- ① 感染症の予防と拡大防止のためマニュアルを活用し園内研修を実施する。
- ② 二酸化炭素測定器を各保育室に設置し、換気と日々の消毒・清掃により衛生的な環境を整えた。
- ③ 職員が感染症の媒介者にならないよう健康管理に努め、市内の感染が拡大している時期は全職員と特定の業者についてPCR検査を実施する。家族内感染が心配される場合等も、随時、抗原検査キットを出勤前に行う対応をする。

### 8 職員数状況(4/1現在:東山こどもクラブ、鶴城こどもクラブ職員兼務4人含む) (人)

常 勤 職 員						非 常 勤 職 員				合計
園長	主任	副主任	保育士	栄養士 調理師	事務 職員	保育士	調理補	用務員	嘱託医	
1	2	1	15	2	1	4	1	2	2	31

### 9 入所児童数状況(広域入所児2名含む) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
0歳	7	7	7	7	9	10	10	10	14	15	15	16	127	102
1歳	13	13	14	14	14	13	14	14	14	14	14	14	165	179
2歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	162
3歳	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168	163
4歳	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144	175
5歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180	180
合計	76	76	77	77	79	79	80	80	84	85	85	86	1026	961

### 10 特別保育事業状況

○延長保育事業(月平均利用のべ人数 7.75人) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
のべ利用者数	6	5	6	8	7	9	11	7	7	7	9	11	93

○地域子育て支援拠点事業(事業内容)

	種 類	内 容	回 数	延べ人数
①	検サロン (検自治会館)	コロナ禍のためお休みの周知をする	-	-

②	すくすくサロン (園内・園庭)	○1日1組の完全予約制 ○多胎児・障がい児(毎週 月曜・木曜の午後) ○育児相談・園庭・プール開放 絵本貸出 制作活動 (こいのぼり・母の日・父の日・七夕飾り 芋ほり・お月見団子・プランコモビール・ハーバリウム・ クリスマス・だんごさし・節分・おひなさな・思い出カー ドづくり)	週6回	111名 相談22件
③	全戸訪問 (市委託事業)	生後4カ月未満児の家庭訪問 (育児環境の確認・育児相談・情報提供)	月1.9件 程度	23件

## 11 保護者会・地域との連携状況

- 会津若松市保育所連合会行事は中止となる。
- 養成校と連携を図り感染防止を徹底して、実習生の受入れの協力を努めた。

## 12 職員研修等実施状況

研 修 名	開 催 地	開 催 日	参加者
県保協 福島県保育協議会会津支部研究発表会	オンライン研修	5/11	4名
日保協 福島県支部	オンライン研修	5/24	1名
県保協 第1回会津支部保育士部会研修会	オンライン研修	6/18	3名
県保協 会津支部研修会	オンライン研修	6/22	2名
市こ課 第1回子育て支援担当者研修会	會津稽古堂研修室1	7/1	1名
市保連 第1回会津若松市保育士会研修会	オンライン研修	7/9	20名
医師会 第24回保育園嘱託医と保育士との勉強会	会津若松市医師会館講堂	7/29	1名
市保連 第1回若松市保育士部会・給食部会研修会	オンライン研修	8/20	2名
福島県 福島県安全対策推進研修	オンライン研修	8/22～9/21	1名
県社保 特定給食施設等講習会	オンライン研修	8/25	1名
県社協 保育実習指導者研修会	オンライン研修	8/29	1名
県保事 会津地域発達障害支援者スキルアップ研修会	ピカリンホール	9/24	1名
市保連 第2回会津若松市保育士会研修会	オンライン研修	11/12	19名
県保事 会津地域発達障害支援者スキルアップ研修会	ピカリンホール	11/24	1名
全社協 第55回全国保育士研究大会	オンライン研修	11/24	5名
県キャリアアップ マネジメント	オンライン研修	11/23・26・30	2名
県キャリアアップ 幼児保育	オンライン研修	11/17・25	1名
県キャリアアップ 食育・アレルギー対応	オンライン研修	12/11・23・26	1名
市こ課 乳幼児全戸訪問事業従事者研修会	會津稽古堂研修室2.3	1/6	1名
県キャリアアップ 保健衛生・安全対策	オンライン研修	1/12・19・26	1名
県キャリアアップ マネジメント	オンライン研修	1/16・23・30	1名
園内研 「主体的な遊びが広がる保育環境」DVD研修	DVD(すくすく園)	1/26～	30名
県キャリアアップ 保護者支援	オンライン研修	1/27・2/3	1名
県キャリアアップ 食育・アレルギー対応	オンライン研修	2/1・8・13	1名
市こ課 第2回子育て支援担当者研修会	會津稽古堂研修室 2.3	2/3	1名
市保連 第3回会津若松市保育士会研修会	オンライン研修(アーカイブ)	2/4	19名
県キャリアアップ 保護者支援	オンライン研修	2/7・15・21	2名
県キャリアアップ 乳児保育	オンライン研修	2/11・25	1名
県キャリアアップ 保健衛生・安全対策	オンライン研修	2/16・22・28	1名

13 主な行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	1	金	入園・進級式	11	12	土	クラス懇談会(4歳児・5歳児)
	22	金	春の交通安全教室	12	23	金	クリスマス会
6	4	土	クラス懇談会(2歳児)	12	26	月	生活発表会ごっこ(年長・年中)
	11	土	クラス懇談会(0歳児・1歳児)		27	火	生活発表会ごっこ(年少)
	18	土	クラス懇談会(3歳児・4歳児)	1	12	木	だんごさし
	25	土	クラス懇談会(5歳児)		14	土	会津自然の家(5歳児)
7	7	木	たなばた	20	金	十日市ごっこ	
	15	金	夏まつり(全クラス)	21	土	クラス懇談会(0歳児)	
9	16	金	秋の交通安全教室	2	28	土	クラス懇談会(2歳児)
					3	金	まめまき
10	5	木	ミニ運動会(3歳児)	2	4	土	クラス懇談会(1歳児)
	6	金	ミニ運動会(4歳児)	3	3	金	ひなまつり
	7	水	ミニ運動会(5歳児)		11	土	卒園式
	28	土	秋の収穫祭		17	金	お楽しみ会

14 第三者評価・自己評価

○契約会社を変更しQRコード使用の利用者アンケートと自己評価を導入する。アンケートについては保護者の意見を集計し、結果を保護者に公開するとともに次年度の事業計画・保育等に反映できるよう検討を行った。

## [10] 放課後児童健全育成事業（東山こどもクラブ）

令和4年度より、鶴城こどもクラブが開所となることから、連携して業務ができるよう事前準備を並行して進め、行事や活動内容等、安全で心地よい環境の検討を行ってきた。

職員の連携が図れるよう毎週の活動打合せや毎月の定例会議での保育の振り返りを大切に、児童や保護者への対応などの共通理解に努めてきた。支援児も含め最後まで丁寧に関わることを心がけてきたが、コロナの影響で支援員の休みが重なる日が多く思うような関わりができない日もあった。

保護者の方々からの苦情やご意見に対しては、その都度、丁寧に対応することで信頼関係への深まりにも繋げることができ、「親の会」役員会でも楽しい活動が増えたことや取り組むの姿への理解と感謝の言葉をいただけ支援員の励みとなった。

仕事の効率化を図るため、Wi-Fiと印刷機を導入する。不具合もあったが今後もメンテナンスをしながらメール等を有効に活用できるようにする。

支援員の外部研修には計画的に参加した。さらに、内部研修として児童の人権を守ることの大切さを学ぶ機会として東山・行仁・鶴城のこどもクラブ合同でCAP教職員ワークショップを行う。次年度も支援員の交流の機会として合同研修の機会をつくるよう計画する。

### 1 利用児童数状況（年間延べ人数） (人)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
4,147	4,871	3,338	3,162	360	0	15,787

### 2 利用状況（年間開所日数） (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	22	26	25	24	23	23	24	24	23	22	26	287

3 健康管理 ○コロナ禍での感染予防・感染拡大防止の基本対応を行う。  
(コロナ感染者・濃厚接触者へは行政の指示のもと学校と同様の対応をする。)

4 安全管理 ○重篤な事故や怪我はなく、賠償保険に該当する件数は0件  
○毎月の避難訓練の実施（地震・火災、不審者、土砂災害など）

5 職員状況 ○正職2名 臨時職員1名 パート職員5名 計8名

6 料金状況 ○保育料 1ヶ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途

7 保護者・地域連携 ○保護者からの年度末アンケートの結果を次年度へ反映する。  
○東公民館・小学校と連携し放課後こども教室をコロナ禍に応じた内容と規模で実施する。

### 8 研修等状況

研 修 名	開催地	開催日	参加者
市こども課 第1回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	6/20	1名
市こども課 第2回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	12/12	4名

地域協働研修会 CAP研修「人権教育プログラム」	湯川公民館 鶴城こどもクラブ	9/8 9/22	2名 8名
県委託 福島県放課後児童支援員等資質向上研修・専 県委託 福島県放課後児童支援員等資質向上研修・中 県委託 福島県放課後児童支援員認定資格講習会	Zoom研修 Zoom研修 Zoom研修	12/5・7 12/12 12/10・12・13 1/13・14・17・20	1名 2名 2名

9 行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	2	土	入会式・親の会総会(中止)	12	27	火	年末大掃除
	25	月	母の日プレゼント作り		28	水	年末大掃除
5	9	月	プラバン板制作	1	12	木	だんごさし
6	1	水	父の日プレゼント作り		18	水	十日市ごっこ
7	7	木	七夕	2	3	金	豆まき
8	2	火	夏祭りごっこ	3	3	金	ひなまつり
9	2	金	敬老の日プレゼント作り		23	水	進級お祝い会
10	31	月	ハロウィン仮装パーティー	* 毎 月 : お誕生会・避難訓練			
12	23	火	クリスマス会				

## [ 1 1 ] 放課後児童健全育成事業（鶴城こどもクラブ）

令和4年度より鶴城小学校内の2室を借用し、市委託事業である「鶴城こどもクラブ」が開所となる。コロナ禍のため入会式や説明会等も行うことが出来ない中、新1年生だけでなく「城前こどもクラブ」からの継続児童が在籍するため、保護者の方々の期待と不安も大きい状態でのスタートとなった。

また、在籍80名の内、支援児の割合が約25%（グレーゾーンの児童含む）となるため、様々な特性を合わせ持つ支援児の対応に苦慮する1年間だった。困り感や苛立ちからの暴言・暴力が表れるため、常に緊張感をもち支援児自身の安全・周りの児童の安全を優先に考え対応することを大切に支援員間の連携を図った。その都度、環境や関わり方の見直しを行うことで落ち着く様子も増えてはきたが予測できない場面も多い現状がある。さらに苦情に対しては保護者の辛さや怒りを聴く対応だけで支援員の心が疲弊してしまうため、保護者によっては窓口を施設長（園長）に変更し対応する。家庭相談員に相談し支援児や保護者への関わり方を学ぶ機会をもち、保護者を家庭相談窓口につなげられるよう行政側からの支援も求めて行った。また、現状の厳しさから行政への働きかけが必要と判断し現状報告と今後に向けて話し合いの場は設けたが「鶴城こどもクラブ」の環境づくりについては、引き続き行政対応の協力を求める訴えが必要な現状である。

小学校とは常に報・連・相を大切に確認しながら活動やコロナ対応をすすめてきた。支援児に関しても連携の協力を心がけてきたため、苦情が小学校に届くような場合でも情報を共有し対応することが出来ていた。

保護者会活動もコロナ禍のため停止した状態ではあったが、役員の方々は1年間の取組み現状にも理解を示してくださり、保護者同士の関わりを深める機会づくり、制限がある環境を保護者に伝える必要がある等の意見もいただく。次年度へ向けての対応として検討の必要がある。

### 1 利用児童数状況（年間延べ人数） (人)

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
3,639	3,606	3,586	1,611	700	491	13,633

### 2 利用状況（年間開所日数） (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	23	26	25	24	24	25	23	24	23	22	26	290

- 3 健康管理 ○コロナ禍での感染予防・感染拡大防止の基本対応を行う。  
（コロナ感染者・濃厚接触者へは行政の指示のもと学校と同様の対応をする。）

- 4 安全管理 ○重篤な事故や怪我はなく、賠償保険に該当する件数は0件  
○毎月の避難訓練の実施（地震・火災、不審者、水害など）  
○食物アレルギーでエピペン使用児童（2名）  
食物アレルギー児のおやつは家庭より持参してもらい個別に保管対応

- 5 職員状況 ○正職1名 臨時職員1名 パート職員7名 計9名

- 6 料金状況 ○保育料 1ヶ月4,000円（市直接納入） ※親の会費は別途

- 7 保護者・地域連携 ○保護者からの年度末アンケートの結果を次年度へ反映する。  
○鶴城地区青少年育成推進協議会の活動である、朝のあいさつ運動・学区内の危険箇所環境調査に参加する。

8 研修等状況

研 修 名	開催地	開催日	参加者
市こども課 第1回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	6/20	1名
市こども課 第2回放課後児童支援員等研修会	会津若松市	12/12	4名
地域協働研修会 CAP研修「人権教育プログラム」	湯川公民館 鶴城こどもクラブ	9/8 9/22	2名 8名
県委託 福島県放課後児童支援員等資質向上研修・専	Zoom研修	12/5・7	1名
県委託 福島県放課後児童支援員等資質向上研修・中	Zoom研修	12/12	2名
県委託 福島県放課後児童支援員認定資格講習会	Zoom研修	12/10・12・13 1/13・14・17・20	2名

9 行事実施状況

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
4	1	金	入会式・親の会総会(中止)	12	27	火	年末大掃除
	13	水	避難訓練		28	水	年末大掃除
5	25	水	母の日プレゼント作り	1	12	木	だんごさし
6	1	水	父の日プレゼント作り		19	木	十日市ごっこ
7	7	木	七夕	2	3	金	豆まき
8	4	木	夏祭りごっこ	3	3	金	ひなまつり
9	2	金	敬老の日プレゼント作り		20	月	進級お祝い会
10	31	月	ハロウィン仮装パーティー	* 毎 月 : お誕生会・避難訓練			
12	20	火	クリスマス会				